

【一般地仕様】

EHP-3733GPXH
EHP-3743GPXH
EHP-4643GPXH
EHP-3753GPXHT
EHP-4653GPXHT

【耐重塩害仕様】

形名

EHP-3733GPXHE2
EHP-3743GPXHE2
EHP-4643GPXHE2
EHP-3753GPXHTE2
EHP-4653GPXHTE2

【寒冷地仕様】

EHP-3733GPXHK
EHP-4643GPXHK

このたびは長府製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

●このヒートポンプ給湯機は電気料金の割引が適用されます。お買い求めの販売店にご相談のうえ、お早めに最寄りの電力会社にお申し出ください。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- エコキュートの名称は電力会社・販売メーカーが推奨する自然冷媒ヒートポンプ給湯機の実称です。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 耐重塩害仕様は、一般地域より腐食、劣化しやすい海浜地区などに設置するため、ヒートポンプユニットに錆びにくい材料を使用したり、多重塗りをしています。

20462704 (K)

も く じ

ページ

ご使用の前に	特長	1
	特に注意していただきたいこと	3
	各部のなまえとはたらき	
	メインリモコン	9
	ふろリモコン	11
	サブリモコン	13
	外観図	14
	各種設定モード	15

運転のしかた

使用方法	
現在時刻の設定	16
契約電力制度の設定	17
沸き上げ設定	19
沸き増し運転	22
給湯温度の設定	23
数日間運転を停止する方法	24
沸き増し停止	26
ふろ自動運転	27
保温時間の設定	29
ふろ予約運転	30
高温たし湯運転	31
たし湯運転	32
さし水運転	32
追いだし運転	33
チャイルドロックの設定	34
ナビ表示	34
おしらせ表示	35
おしらせ表示の設定	36
インターホンの使いかた	43
配管洗浄	48
使用上の注意	50
停電したとき	50
地震などの被害があったとき	50
長期間使用しない場合	51
災害時などにお湯を取り出す	55
凍結予防	56
安全装置	56

使うとき	日常の点検・手入れ	57
	定期点検	59

故障かな？	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	サービスを依頼される前に	59
	エラーコード(警報)表示	61
	部品交換について	62
	仕様	63
	アフターサービス	67

エコキュートとは

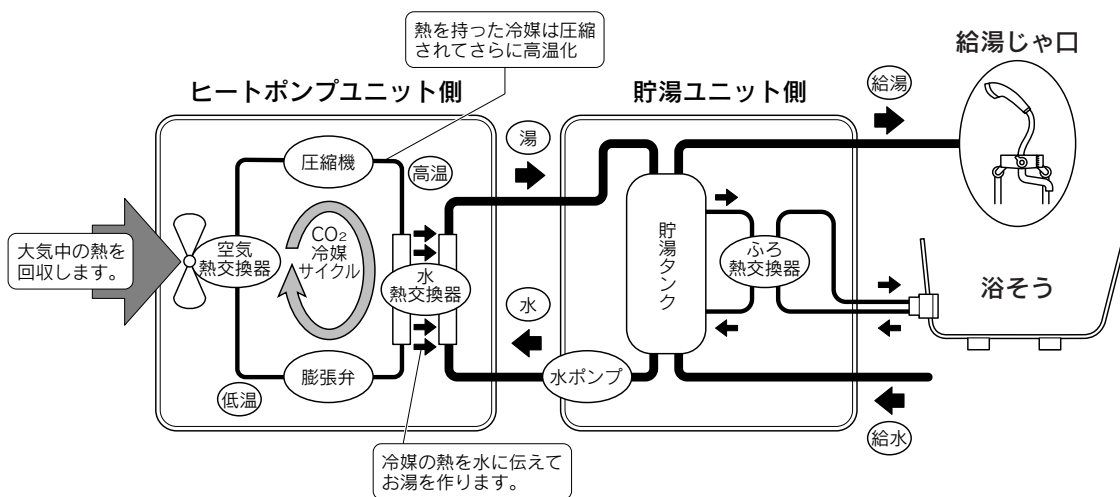
環境にやさしく(エコロジー)省エネ(エコノミー)でキュートな次世代給湯機です。

1 地球環境にやさしい自然冷媒(CO₂)を使用しています。

- オゾン層破壊係数はゼロです。(破壊しません。)
- 地球温暖化係数は従来冷媒の約 1/1700 です。

2 省エネ性に優れたヒートポンプ方式

- 大気中の熱を回収してお湯をつくるヒートポンプ方式です。
- 圧縮機により電気を効率よく利用するので、従来の電気温水器よりお得です。



- 時間帯別電灯 / 季節別時間帯別電灯契約をすることで割安な夜間にお湯を沸き上げます。お湯が足りなくなったら昼間に効率よく沸き上げます。

3 火を使わない安全設計

- 火を使わず電気でお湯を沸かします。
- 電気ヒータなしで最高 90℃のお湯を沸かせます。

便利な新機能

— 選べる「沸き上げ設定」 —

日々の使用量を学習して、沸き上げ湯量を自動で設定する「おまかせ」設定と、お湯の使用状況に合わせて「多め」設定、「深夜のみ」設定を選択できます。

19 ページ 

— 「沸き増し停止」で省エネ —

「今日は、あと少ししかお湯を使用しないので夜間電力時間帯までお湯を沸かさなくていい」、そんな日は「沸き増し停止」スイッチで昼間時間帯の沸き増しをストップできます。

26 ページ 

— 「ナビ」表示 —

あとどのくらいお湯が使えるか、毎日どれくらいお湯を使っているか(過去7日間)を表示します。

34 ページ 

— 「おしらせ」表示 —

お湯の使用量がいつもより多い場合や、貯湯タンク内のお湯が少なくなったときなどにドット表示と音声でお知らせします。

35 ページ 

運転のしくみ

- (1)夜間時間帯になると給水温度、設定温度などにより、マイコンが所要通電時間を算出します。
- (2)所定の時間になるとヒートポンプユニットへ通電を開始します。

貯湯ユニットとヒートポンプユニットの組み合わせ

	貯湯ユニット形名	ヒートポンプユニット形名
EHP-3733GPXH	ET-3733GPXH	EHPE-455
EHP-3743GPXH	ET-3743GPXH	EHPE-455
EHP-4643GPXH	ET-4643GPXH	EHPE-601
EHP-3753GPXHT	ET-3753GPXHT	EHPE-455
EHP-4653GPXHT	ET-4653GPXHT	EHPE-601
EHP-3733GPXHE2	ET-3733GPXHE2	EHPE-455E2
EHP-3743GPXHE2	ET-3743GPXHE2	EHPE-455E2
EHP-4643GPXHE2	ET-4643GPXHE2	EHPE-601E2
EHP-3753GPXHTE2	ET-3753GPXHTE2	EHPE-455E2
EHP-4653GPXHTE2	ET-4653GPXHTE2	EHPE-601E2
EHP-3733GPXHK	ET-3733GPXHK	EHPE-455K
EHP-4643GPXHK	ET-4643GPXHK	EHPE-601K

特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

 一般的な禁止	 アースを接続すること	 接触禁止
 一般的な危険・警告・注意	 分解禁止	 高温注意
 必ず行うこと	 感電注意	

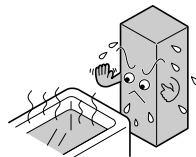
危険(DANGER)

浴室内の設置禁止（感電・事故の原因）

貯湯ユニットは浴室内に設置しないでください。



禁止



警告(WARNING)

高温注意



高温注意

シャワーを使用するときや入浴するとき、手で湯温を確かめてください。また給湯じや口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。



接触禁止

使用中は高温部に手など触れないでください。やけどをすることがあります。



給湯時は混合水栓に手を触れない



接触禁止

お湯を出しているときに混合水栓に触れると、やけどをすることがあります。



電源は単相 200V を使用する（火災・事故の原因）



確認

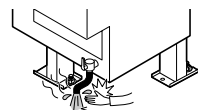
電源は単相 200V で、専用回路が必要です。配線用遮断器(ブレーカ)、電線の太さなどは機器にあったものを使用してください。

排水時は配管や排水に手を触れないで、ゆっくり操作する



禁止

熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。



警告(WARNING)

周囲の確認 (火災の原因)



確認

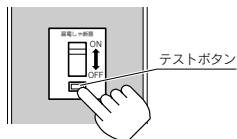


近くに灯油、ガス、ガソリンなど引火性のものを置かないでください。

漏電遮断器の確認



確認



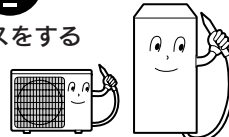
漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。

57 ページ

アースの確認



アースをする

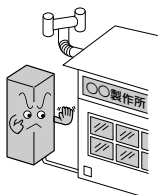


この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

家庭用以外の使用禁止



禁止

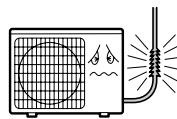


この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用すると保証の対象外になります。

電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたまま使用しない



禁止

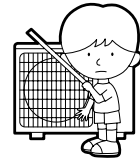


重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。

ヒートポンプユニットのフィンに触れたり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない



禁止

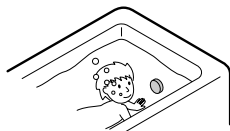


ファンが高速で回転していますので、けがの原因になります。

子どもに注意



禁止

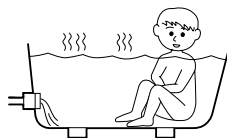


循環口付近でもぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れる



高温注意



循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。

浴そうにお湯がないときは高温たし湯スイッチを押さない



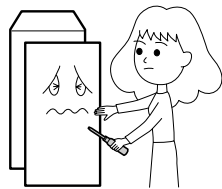
禁止

循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

修理技術者以外は前パネルをはずさない



禁止

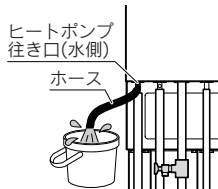


感電のおそれがあります。

取水はお湯が冷めてから行う



禁止



熱湯が出たり、ホースが熱くなったりやけどをすることがあります。

55 ページ

逃し弁のレバーが熱くなります



高温注意



逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。また、レバーを急に上げると熱湯が出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行う



確認

突然熱湯が出てやけどをすることがあります。

異常(こげ臭いなど)時は、200V 電源ブレーカを「切」にし、お買い求めの販売店にご連絡ください。



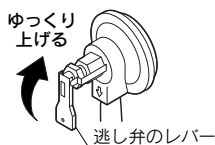
励行

異常のまま使用すると故障や感電・火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意(CAUTION)

逃し弁の確認



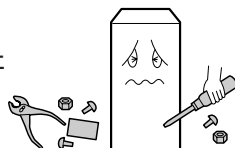
逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。

58 ページ

分解・修理・改造をしない (感電・漏電・火災の原因)



分解禁止

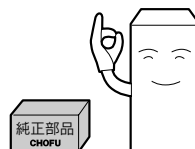


故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

純正部品以外は使用しない (事故・故障の原因)



励行

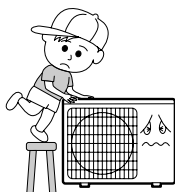


部品は必ず長府自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。

ヒートポンプユニットに乗ったり、ものをのせたり 配管に力を加えない



禁止

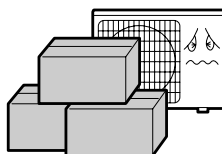


落下・転倒などによりけがや、やけどの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口をふさがない



禁止

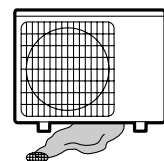


能力低下や故障の原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの真下に濡れて困るものを置かない



禁止

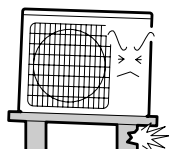


ドレン水が出ます。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



禁止

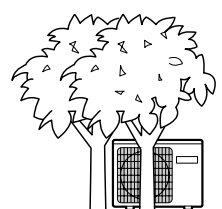


傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながりけがの原因になります。

ヒートポンプユニットの風を動植物に直接当てない



禁止



動植物に悪影響をおよぼす原因になります。

安全装置が作動したときは



励行

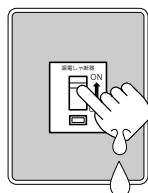
安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
火災・事故の原因になります。

56 ページ

濡れた手危険



感電注意

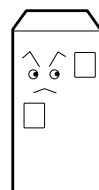


漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあり、危険です。

操作部・点検口のふたは閉じる (ショート・感電・漏電の原因)



励行



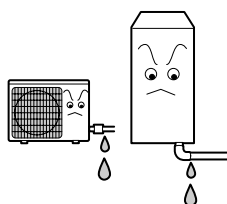
操作部・点検口のふたは開いたままにしないで、操作・点検後は必ず閉じてください。

⚠ 注意(CAUTION)

水漏れの点検



確認

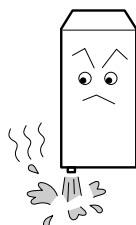


機器や配管から水漏れがないことを点検してください。事故の原因になります。

熱湯の排水禁止 (やけどの原因)



禁止

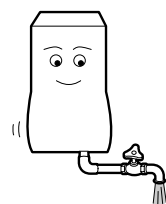


熱湯は冷めてから排水してください。

空だきに注意 (火災・過熱の原因)



励行

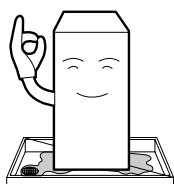


水が入っていないときに漏電遮断器のレバーを「ON」にしないでください。必ず給湯じゃ口から水が出ることを確認してください。

防水処理・排水処理の確認



確認

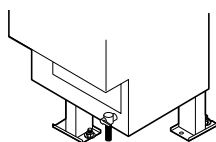


貯湯ユニットを屋内に設置する場合は、床面が防水処理・排水処理されていることを確認してください。処理されていないと水漏れが起きた場合に大きな被害の原因になります。

貯湯ユニットの固定確認 (事故の原因)



確認

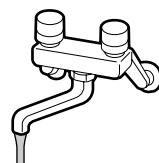


貯湯ユニットがアンカーボルトで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。

用途に注意



励行



家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

貯湯ユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない



禁止

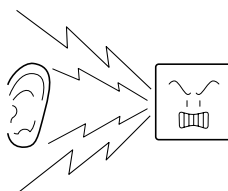


貯湯ユニットの上に乗ったり、配管をゆらしたりしないでください。貯湯ユニットが倒れたり、配管が破損したりして事故の原因になります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない



禁止



大きな音が出ることもあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

水質の確認



確認

水は水道法に規定された水質基準に適合した水を使用してください。井戸水や温泉水を使用すると、水漏れ・故障の原因になります。

ヒートポンプユニットは 屋内に設置しない



禁止

正常に沸き上がらないことがあります。

井戸水は使用しない



禁止

ヒートポンプユニットの熱交換器にスケールが付着し、正常に沸き上がらなくなることがあります。

適合契約電力制度の設定 から変更しない



禁止

適用電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意(CAUTION)

1 カ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う



励行

長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

51～54ページ

配管の保温工事を確認する
(故障の原因)



注意

冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。



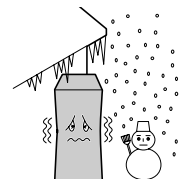
56ページ

水抜きをしない場合、冬期は漏電遮断器
のレバーを「OFF」にしない
(故障の原因)



注意

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

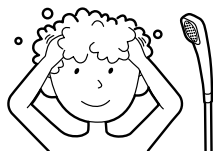


お願い(NOTICE)

湯切れについて



励行

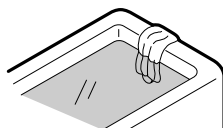


シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、お湯をこまめに止めてください。
お湯を出したままにすると湯切れの原因になります。

循環口をふさがない
(故障の原因)



禁止



浴そうの循環口を手や足、タオルなどでふさがないでください。

循環口フィルタは必ずつける



励行

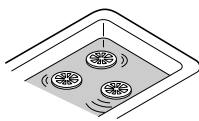


循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。

循環口フィルタの詰まりに
注意



禁止

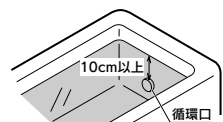


浴そうにミカンやレモン等を浮かべて使用しないでください。またボブリ等を使用する場合は、袋などに入れて使用してください。循環口に詰まると故障の原因になります。

空だき注意 (故障の原因)



確認

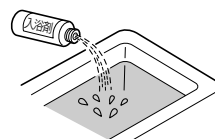


追いだきをするときには循環口から約 10cm 以上の水位を保ってください。

水質・入浴剤に注意



禁止



温泉水や、イオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤、洗剤は本体や配管、循環ポンプの腐食等の原因になりますので使用しないでください。

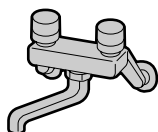
お願い(NOTICE)

石けんの使用禁止

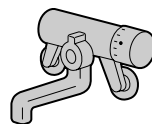


浴そう内では石けんやボディシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

混合水栓について



水栓は逆止弁付混合水栓で通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



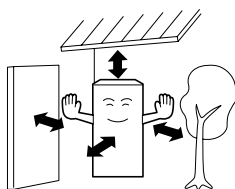
特に浴室ではやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)を使用してください。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

リモコンに水をかけない



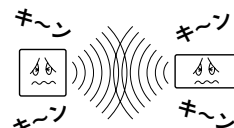
リモコンに水をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水がはいり、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなったり、故障の原因になります。

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

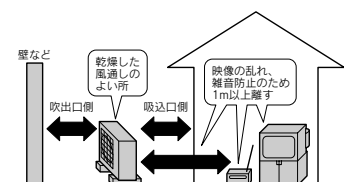
リモコンの設置場所について



メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合、通話をするとうわリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

設置場所について

- 設置場所に余裕がある場合は、できるだけ広い間隔をお取りください。
- ヒートポンプユニットからの排水は水はけのよい場所にしてください。



■次のような場所に設置されていないことを確認してください。

- 油・蒸気・油煙の発生する場所
- 海浜地区など塩分の多い場所・・・[耐重塩害仕様]は除く
- 温泉地などの硫化ガスの発生する場所
- アンモニアにさらされる場所
- 積雪により、ヒートポンプユニットがふさがれてしまう場所

■運転音にも配慮を

次のような場所をお選びください。

- 貯湯ユニットの重量に充分耐え、騒音や振動が増大しない場所
- ヒートポンプユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所

■電気工事について

- 電源は必ずエコキュート専用回路を設置してください。

■移設について

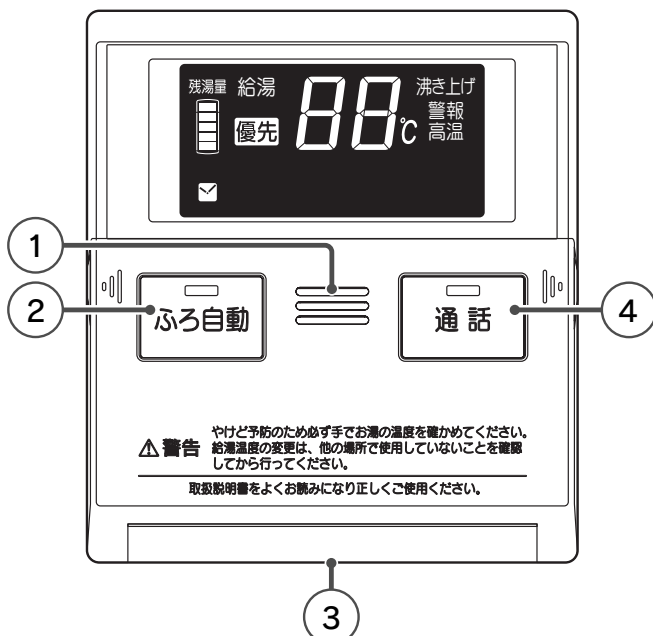
- 増改築・引っ越しなどで、製品を移設したり再据付けする場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

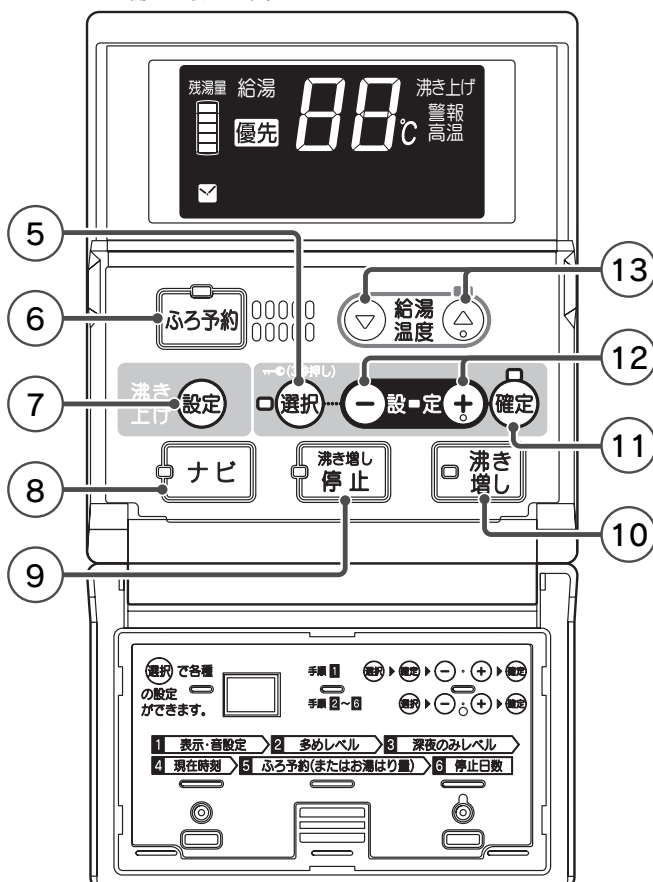
メインリモコン(別売) (CMR-2313P…インターホン付き)

ふたを閉じた状態です。

①スピーカー	ここから音声や音が出ます。
②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)	ふろ自動運転をするときに押します。 点灯…お湯はり中です。 点滅…保温運転中です。
③マイク	通話するときに使います。
④通話スイッチ (通話ランプ)	ふろリモコンと通話するときに押します。 43ページ
⑤選択スイッチ	設定モード(現在時刻、ふろ予約時刻、メインリモコンの表示部の明るさ等)を表示するときに押します。 15ページ
⑥ふろ予約スイッチ (ふろ予約ランプ)	ふろ自動運転を予約するときに押します。 点灯…ふろ自動運転を予約中です。 34ページ
⑦沸き上げ設定スイッチ	沸き上げ設定を変更するときに押します。 19ページ
⑧ナビスイッチ (ナビランプ)	使用可能湯量、使用湯量の履歴を確認するときに押します。 34ページ
⑨沸き増し停止スイッチ (沸き増し停止ランプ)	昼間時間帯の沸き増しを停止するときに押します。 26ページ



ふたを開いた状態です。

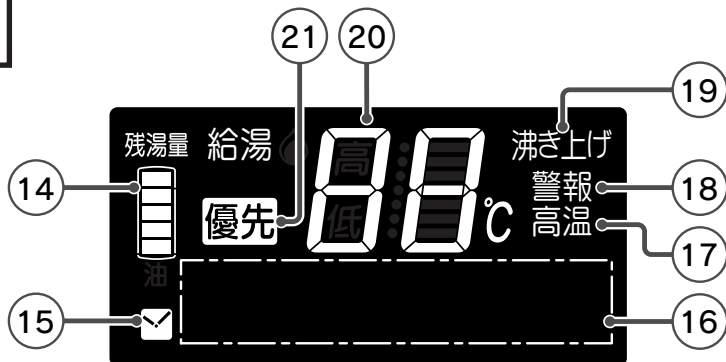


⑩沸き増しスイッチ (沸き増しランプ)	沸き増しをするときに押します。 22ページ
⑪確定スイッチ	設定モードの内容を確定するときに押します。
⑫設定スイッチ	設定モードの内容を変更するときに押します。 +…設定値を進めます。 -…設定値を戻します。
⑬給湯温度調節スイッチ	給湯温度を調節するときに押します。 優先表示が点灯しているときのみに給湯温度の調節ができます。 ▲…温度が高くなります。 ▼…温度が低くなります。 温度調節範囲…約37~60℃ 37~50℃までは1℃ごとに、 50~60℃までは5℃ごとに設定できます。

メインリモコンの表示部について

メインリモコンの表示は消すことはできません。

表示部



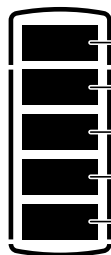
⑭残湯量表示 貯湯タンク内のお湯の量を表示します。	⑯ドット表示 現在時刻、選択スイッチで設定した内容、ナビ表示の内容、お知らせ表示の内容、エラーコード等を表示します。	⑰警報表示 異常時に点滅して異常をお知らせします。	⑱給湯温度表示 給湯設定温度を表示します。
⑮予約表示 ふろ自動運転の予約中に表示します。	⑰高温表示 給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。	⑲沸き上げ表示 沸き上げ中に表示します。	⑳優先表示 この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

●表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

残湯量のめやす

●残湯量表示は 45℃ 以上のお湯の量を表示します。

残湯量



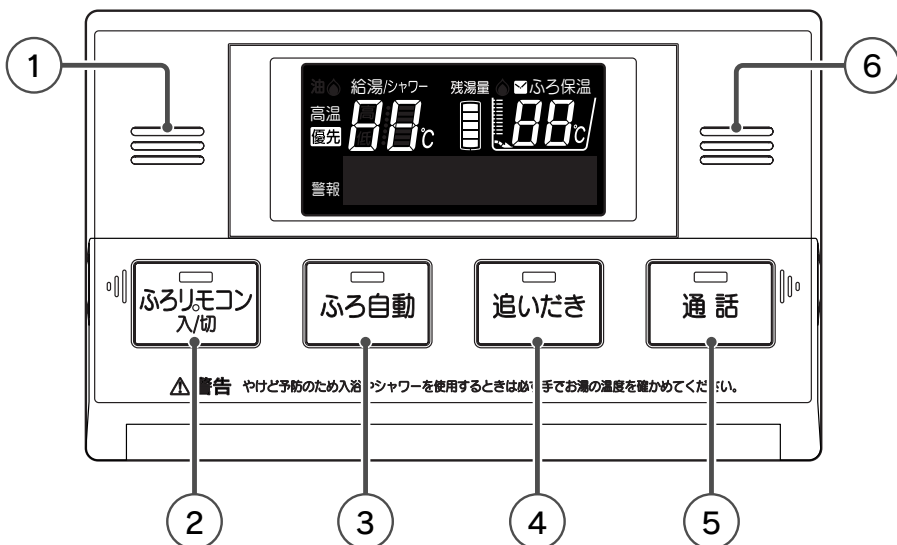
3733タイプ 3743タイプ 3753タイプ	4643タイプ 4653タイプ
約300L以上	約370L以上
約240～300L	約310～370L
約190～240L	約230～310L
約100～190L	約150～230L
約50～100L (50L未満 消灯)	約50～150L (50L未満 消灯)

各部のなまえとはたらき

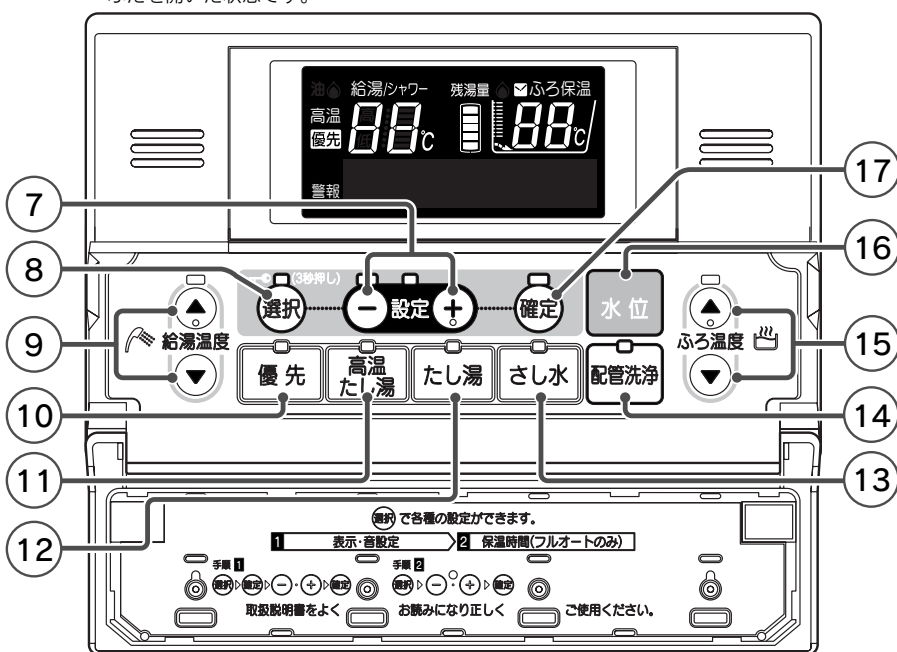
ふろリモコン(別売) (YST-2311P…インターホン付き)

ふたを閉じた状態です。

①スピーカー
ここから音声や音が出ます。
②ふろリモコン入/切スイッチ (ふろリモコン入/切ランプ)
ふろリモコンを入/切するときに押します。
③ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)
ふろ自動運転をするときに押します。
点灯…お湯はり中です。
点滅…保温運転中です。
④追いだしスイッチ (追いだしランプ)
追いだしするときに押します。
点灯…追いだし運転中です。
⑤通話スイッチ (通話ランプ)
メインリモコンと通話するときに押します。
43ページ
⑥マイク
通話するときに使います。
⑦設定スイッチ
設定モードの内容を変更するときに押します。
⊕…設定値を進めます。
⊖…設定値を戻します。
⑧選択スイッチ
設定モード(保温時間、ふろリモコンの表示部の明るさ等)を表示するときに押します。
15ページ
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定/解除ができます。
34ページ
⑨給湯温度調節スイッチ
給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。
温度調節範囲…約37~60℃
37~50℃までは1℃ごとに、
50~60℃までは5℃ごとに設定できます。



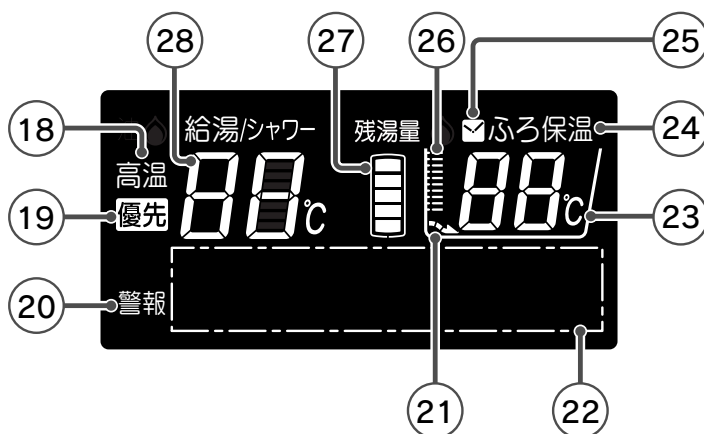
ふたを開いた状態です。



ふろリモコン入/切スイッチを「切」にすると・・・

ふろリモコン入/切ランプおよび表示部が消灯します。
 ただし、給湯温度を 55℃ 以上に設定した場合は給湯温度を表示します。
 優先はメインリモコンに移動します。
 通話スイッチ、選択スイッチ以外の操作は受け付けません。

表示部



⑩優先スイッチ (優先ランプ)	ふろリモコンで給湯温度を調節するときに押します。 このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。
⑪高温たし湯スイッチ (高温たし湯ランプ)	浴そうに高温たし湯するときに押します。 点灯…高温たし湯運転中です。
⑫たし湯スイッチ (たし湯ランプ)	浴そうにたし湯するときに押します。 点灯…たし湯運転中です。
⑬さし水スイッチ (さし水ランプ)	浴そうにさし水するときに押します。 点灯…さし水運転中です。
⑭配管洗浄スイッチ (配管洗浄ランプ)	配管洗浄をするときに押します。 点灯…配管洗浄中です。 48・49ページ▶
⑮風呂温度調節スイッチ	ふろ自動運転、追いだし運転、たし湯運転の温度を調節するときに押します。 ▲…温度が高くなります。 ▼…温度が低くなります。 温度調節範囲…約35～48℃ 1℃ごとに設定できます。
⑯水位スイッチ	ふろ自動運転で、浴そうの水位(お湯はり量)を設定するときに押します。 押すと水位(お湯はり量)が変更できます。
⑰確定スイッチ	設定モードの内容を確定するときに押します。

⑱高温表示	⑳優先表示	㉑お湯はり表示	㉒ドット表示	㉓風呂温度表示	㉔保温表示	㉕予約表示	㉖水位表示	㉗残湯量表示	㉘給湯温度表示
給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。	この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。	ふろ自動運転やたし湯運転、さし水運転等で浴そうにお湯・水を入れているときに表示します。	現在時刻、選択スイッチで設定した内容、お知らせ表示の内容、エラーコード等を表示します。	ふろ温度(沸き上げ温度)を表示します。	保温中に表示します。	ふろ自動運転の予約中に表示します。	ふろ自動運転で設定した浴そうの水位を表示します。	貯湯タンク内のお湯の量を表示します。	給湯設定温度を表示します。

●表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

サブリモコン(別売) (CMR-2313S)

ふたを閉じた状態で。

①給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度が高くなります。

▼…温度が低くなります。

温度調節範囲…約37～60℃

37～50℃までは1℃ごとに、

50～60℃までは5℃ごとに

設定できます。

②優先表示

この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

③残湯量表示

貯湯タンク内のお湯の量を表示します。

④ドット表示

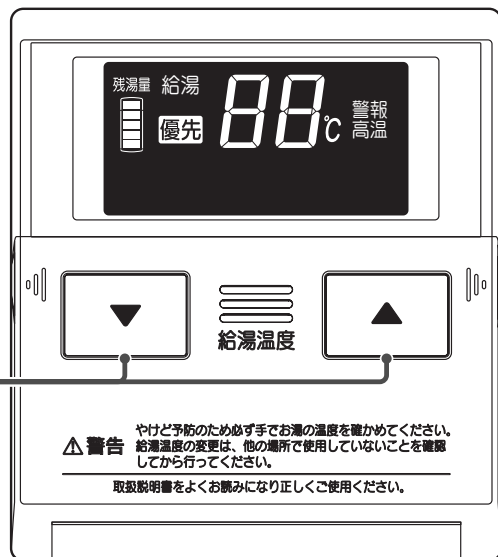
現在時刻、選択スイッチで設定した内容、お知らせ表示の内容、エラーコード等を表示します。

⑤優先スイッチ (優先ランプ)

サブリモコンで給湯温度を調節するときに押します。
このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

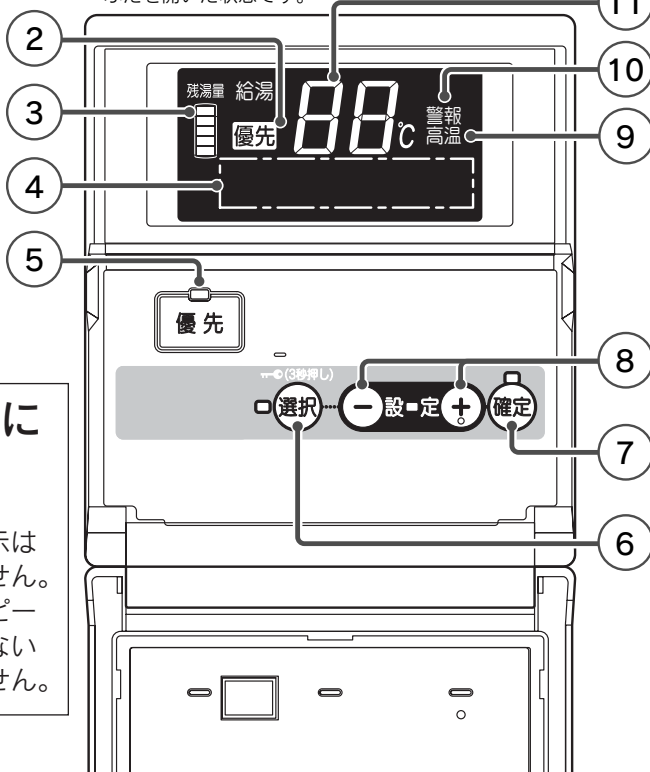
サブリモコンについて

- サブリモコンの表示は消すことはできません。
- サブリモコンはスピーカーを内蔵していないため、音声は出ません。



1

ふたを開いた状態で。



⑥選択スイッチ

設定モード(サブリモコンの表示部の明るさ、表示部のコントラスト等)を表示するときに押します。

15ページ

約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定/解除ができます。

34ページ

⑦確定スイッチ

設定モードの内容を確定するときに押します。

⑧設定スイッチ

設定モードの内容を変更するときに押します。

⊕…設定値を進めます。

⊖…設定値を戻します。

⑨高温表示

給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

⑩警報表示

異常時に点滅して異常をお知らせします。

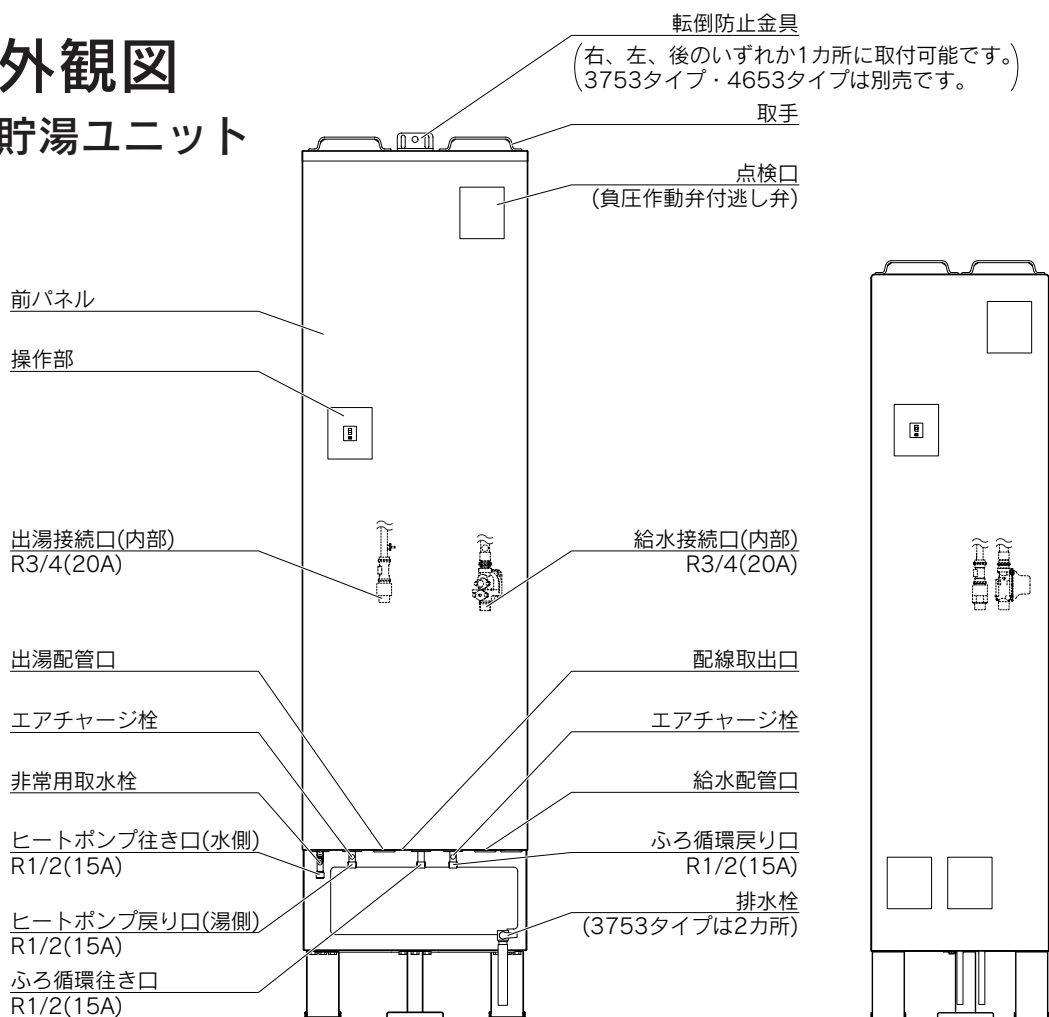
⑪給湯温度表示

給湯設定温度を表示します。

ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの画面を正面から見ると表示色が変わって見える場合がありますが故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは気温が下がると表示がゆっくり消えたりする場合がありますが故障ではありません。

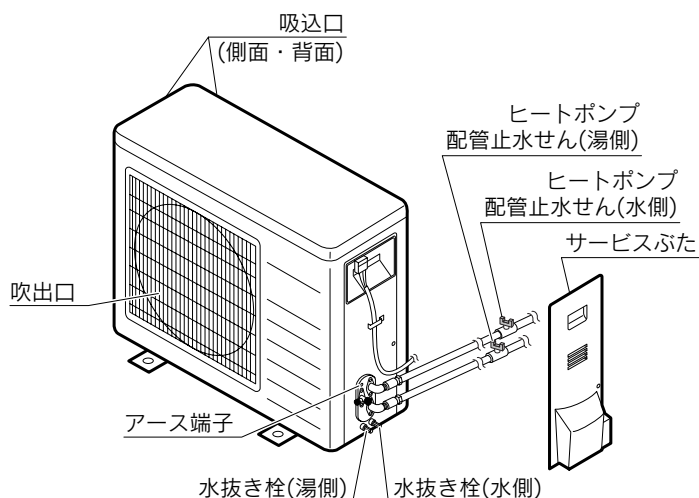
●外観図 貯湯ユニット



〈 3733 タイプ・3743 タイプ・4643 タイプ 〉

〈 3753 タイプ・4653 タイプ 〉

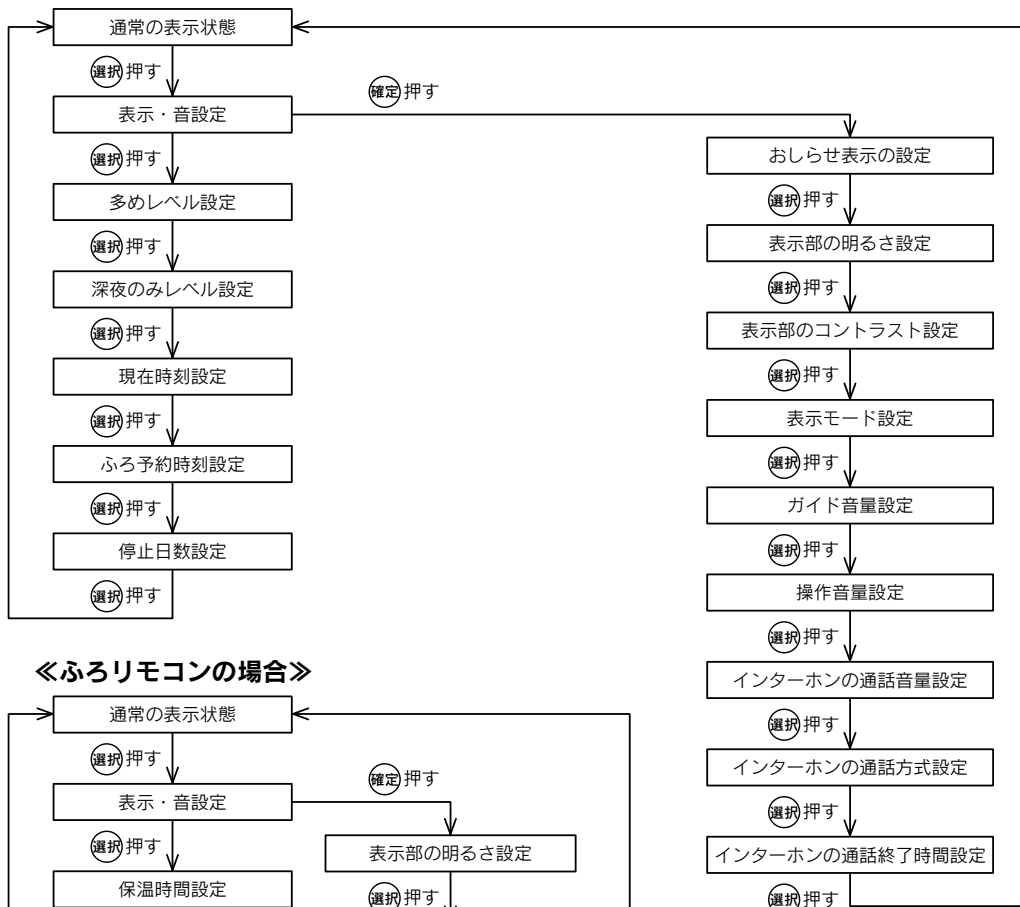
ヒートポンプユニット



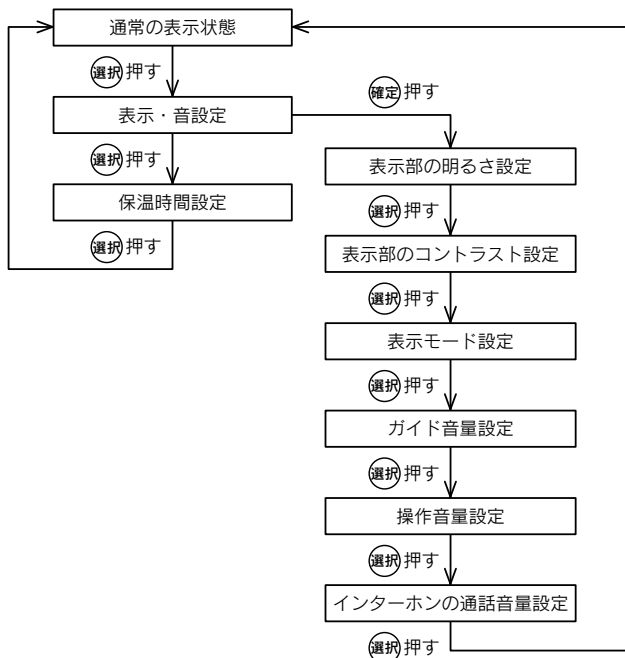
各種設定モード

●選択スイッチ、確定スイッチを操作することで、下記の設定モードを表示します。

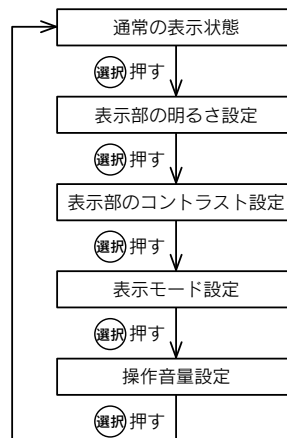
《メインリモコンの場合》



《ふろリモコンの場合》

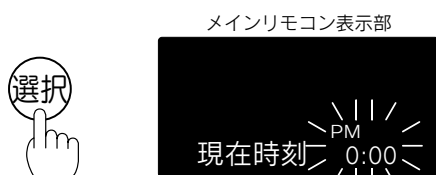


《サブリモコンの場合》



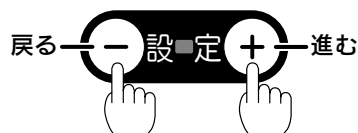
現在時刻の設定(メインリモコン)

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「現在時刻」を表示させる



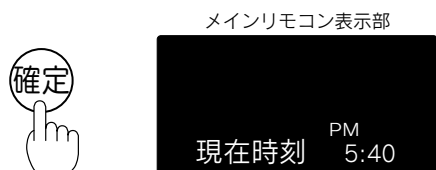
15 ページ

2 設定スイッチを押す



現在時刻を合わせます。
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 停電した後は現在時刻が合っているか確認してください。
- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。
(AM は午前、PM は午後です。)

契約電力制度の設定(メインリモコン)

●この機器は申請により、通電制御型として電気料金の割引が適用されます。

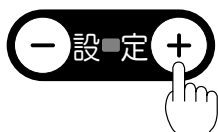
⚠ 注意

すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は変更しないでください。
通常、据え付け時に設定しています。
適用電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

■契約電力制度の設定方法

●電源が入っていない状態では、契約電力制度の設定はできません。

1 メインリモコンの 設定スイッチの⊕を 5 秒間押し続ける

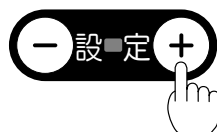


メインリモコン表示部

電力契約 d01

ドット表示部に「電力契約 d01」を表示します。

2 設定スイッチの⊕を 押して契約電力制度を 選ぶ



メインリモコン表示部

電力契約 d02

押すごとに切り替わります。

3 確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。



■契約電力制度の確認方法

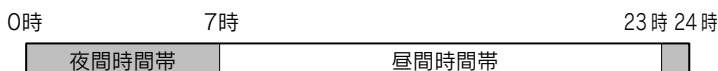
1. メインリモコンの設定スイッチの⊕を5秒間押し続ける。ドット表示部に契約電力制度を表示します。
2. 30秒経過またはふたを閉じることで元の表示に戻ります。

■契約電力制度の内容

「d01」表示(工場出荷時)

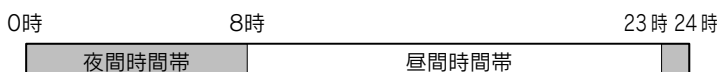
北海道電力…ドリーム8B
東北電力…やりくりナイト8
東京電力…おトクなナイト8
北陸電力…エルフナイト8
中部電力…タイムプラン
四国電力…電化Deナイト
関西電力
四国電力
九州電力
沖縄電力

…時間帯別電灯
(8時間型)



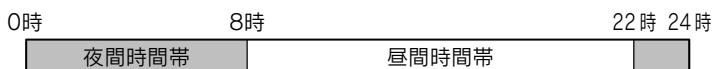
「d02」表示

中国電力…エコノミーナイト
(時間帯別電灯)



「d03」表示

東北電力…やりくりナイト10
東京電力…おトクなナイト10
北陸電力…エルフナイト10
九州電力…よかナイト10



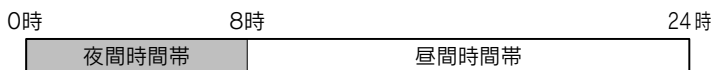
「d04」表示

北海道電力…ドリーム8A



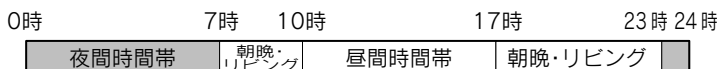
「d05」表示

北海道電力…ドリーム8C



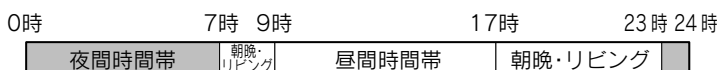
「h01」表示

東京電力…電化上手
関西電力…はびeタイム
沖縄電力…Eeらいふ



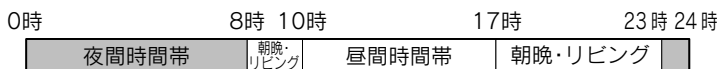
「h02」表示

中部電力…Eライフプラン



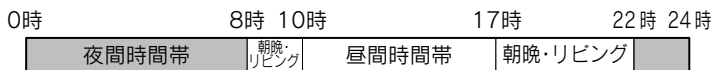
「h03」表示

中国電力…ファミリータイム



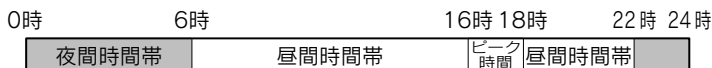
「h04」表示

九州電力…電化Deナイト
北陸電力…エルフナイト10プラス



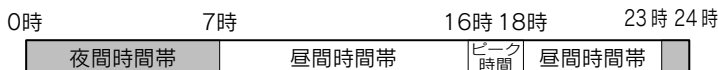
「h05」表示

北海道電力…ドリーム8エコA



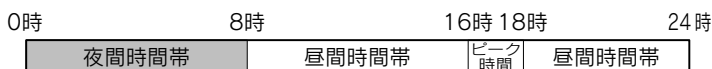
「h06」表示

北海道電力…ドリーム8エコB



「h07」表示

北海道電力…ドリーム8エコC



ドリーム8エコのピーク時間は冬期間(12月～3月)のみです。
その他の期間(4月～11月)はピーク時間の設定はありません。

- 契約している電力制度の内容については、各電力会社へお問い合わせください。
- 上記に当てはまるものがない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

■「多め」設定について

- 「多め」の湯量レベルは4段階の設定があります。
工場出荷時は「4」に設定しています。
- 「多め」は、お湯の使用に応じて以下の運転を行います。

《追加沸き増し運転》

昼間時間帯にお湯を使用すると、自動的に使用した量のお湯を追加で沸き上げます。
最長で6時間の追加沸き上げ運転を行います。

《湯切れ沸き増し運転》

急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間時間帯に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。

湯量レベル	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し	
				3733タイプ 3743タイプ 3753タイプ	4643タイプ 4653タイプ
4	約75～85℃	全量沸き上げ	6時間	100L	150L
3			4時間	100L	150L
2			2時間	50L	50L
1			なし	50L	50L

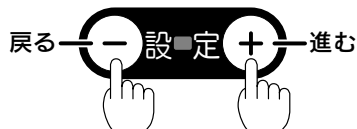
- 外気温によって沸き上げ温度は変わります。
- 用途 湯量レベル4または3…急な来客等でお湯を多量に使用するとき
湯量レベル2または1…「深夜のみ[湯量レベル3]」ではお湯が不足するとき

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「多めレベル」を表示させる



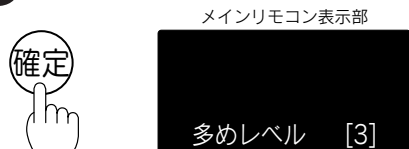
15 ページ

2 設定スイッチを押す



希望の湯量レベルに合わせます。
4 ⇄ 3 ⇄ 2 ⇄ 1 の順で変更されます。
(最高)(高)(中)(低)

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

■「深夜のみ」設定について

- お得な夜間時間帯のみ沸き上げを行います。
- 「深夜のみ」の湯量レベルは3段階の設定があります。
工場出荷時は「3」に設定しています。

湯量レベル	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し
3	約75～85℃	全量沸き上げ	なし	なし
2	約65℃	全量沸き上げ		
1	約65℃	部分沸き上げ		

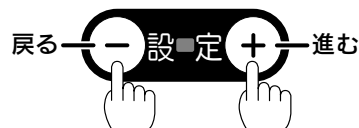
- 外気温によって沸き上げ温度は変わります。
- 用途 湯量レベル3…「多め[湯量レベル1]」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル2…「深夜のみ[湯量レベル3]」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル1…お湯の使用量が非常に少ないとき

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「深夜のみレベル」を表示させる



15 ページ

2 設定スイッチを押す



希望の湯量レベルに合わせます。
3 ⇄ 2 ⇄ 1 の順で変更されます。
(高) (中) (低)

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の見しに戻ります。

Ⓜお知らせⓂ

- 「おまかせ」設定でお湯の使用量が少ない場合、または「深夜のみ[湯量レベル1]」設定時は、夜間時間帯の沸き上げ湯量を制限しますので、朝の時点で残湯量表示が全点灯しない場合があります。

沸き増し運転(メインリモコン)

- お好みの沸き増し運転を選択することにより、必要に応じたお湯を確保します。

沸き増し[+1]	残湯量表示が1つ点灯する量を沸き増しします。	残湯量によっては選択できない場合があります。
沸き増し[+2]	残湯量表示が2つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+3]	残湯量表示が3つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+4]	残湯量表示が4つ点灯する量を沸き増しします。	
沸き増し[+5]	残湯量表示が5つ点灯する量を沸き増しします。	
満タン[6時間]	選択した時間、常に貯湯タンク内を満タンに沸き上げます。	
満タン[12時間]		
満タン[24時間]		

- 昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げますので、電気料金は割高になります。

1 メインリモコンの沸き増しスイッチを押す



ご希望の運転に合わせます。(沸き増しスイッチを押すごとに表示が変わります)
音声で「沸き増しが設定されました」とお知らせし、沸き増しランプが点灯、ドット表示部に追加シャワー湯量のめやすと、選択した沸き増し運転を表示し、沸き増しを開始します。

2 沸き増し運転終了



設定した沸き増し動作を実行すると沸き増しランプが消灯し、自動的に運転を終了します。通常の表示に戻ります。

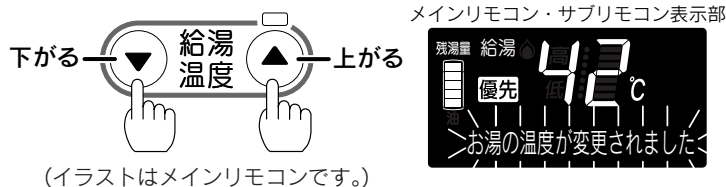
お知らせ

- 途中で停止するときは、メインリモコンの沸き増しスイッチを押してください。
音声で「沸き増しが解除されました」とお知らせし、沸き増しランプが消灯します。
- 沸き増し運転の沸き増し量はめやすです。
沸き増し終了時点の残湯量表示と合わない場合があります。
- 追加シャワー湯量は42℃換算のめやすです。

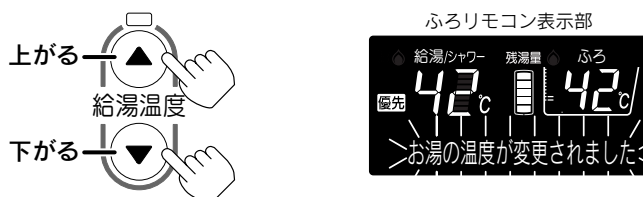
給湯温度の設定

給湯温度調節スイッチを押す

<メインリモコン・サブリモコンの場合>



<ふろリモコンの場合>



優先表示が点灯しているリモコンで約 37 ～ 60℃ の範囲で調節できます。
37 ～ 50℃ までは 1℃ ごとに、50 ～ 60℃ までは 5℃ ごとに設定できます。

給湯温度を 37 ～ 50℃ に設定すると、音声で「お湯の温度が変更されました」とお知らせし、ドット表示部に「お湯の温度が変更されました」と表示します。

給湯温度を 55℃ 以上に設定すると、音声で「お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます」とお知らせし、高温表示が点灯します。ドット表示部に「お湯の温度が変更されました」、「あついお湯が出ます」と表示します。

ふろリモコンの優先スイッチを「切」にすると、メインリモコンに「優先」が移動します。



警告

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。



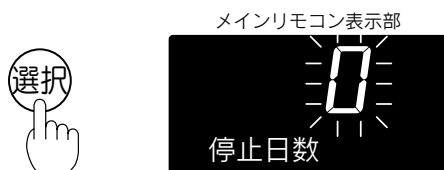
お知らせ

● 追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。

数日間運転を停止する方法 [停止日数設定](メインリモコン)

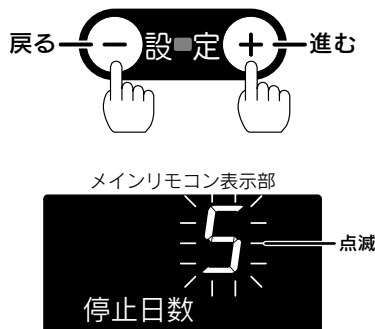
●旅行などでお湯を使用しないときに、数日間(1～30日)沸き上げを行わないように設定できます。

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「停止日数」を表示させる



15 ページ

2 設定スイッチを押す



停止したい希望の日数に合わせます。
停止できる日数は1～30日間です。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
このとき確定スイッチを押さずに続けて選択スイッチを押すと通常の表示に戻ります。

4 再度、確定スイッチを押す



設定が完了し、その日から沸き上げを停止します。

停止日数設定の解除

選択スイッチを押して「停止日数」設定を選び、停止日数を「0」に合わせ確定スイッチを押します。
停止日数設定をする前の表示に戻ります。

使用方法

お知らせ

- 停止日数設定を行ったその日から沸き上げを停止します。
- 帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと、帰宅する日にお湯が使用できません。

例 3泊4日の旅行の場合・・・出発日に停止日数を2日に設定してください。

	7時	23時	7時	23時	7時	23時	7時	23時	7時
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	夜間
	沸き上げ停止		沸き上げ停止			沸き上げ運転			沸き上げ運転
旅行の日程	1日目(出発日)		2日目		3日目		4日目(帰宅日)		
	停止日数を2日に設定します。						お湯が使用できます。		

- 長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

沸き増し停止(メインリモコン)

- 夜間時間帯まで強制的に沸き増しを停止します。

夜間時間帯になると沸き増し停止ランプが消灯し、設定が自動的に解除されます。

メインリモコンの沸き増し停止スイッチを押す



音声で「沸き増しを一時停止します 残り湯量に注意してください」とお知らせし、沸き増し停止ランプが点灯、ドット表示部に「沸き増し停止」と表示し、昼間時間帯の沸き増しを停止します。

沸き増し停止の解除



メインリモコンの沸き増し停止スイッチを再度押すと、沸き増し停止が解除されます。
(沸き増し停止ランプと、ドット表示部の「沸き増し停止」が消灯します。)

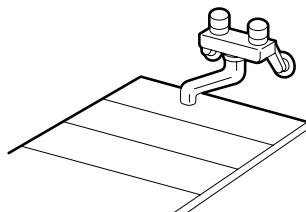
お知らせ

- 沸き増し停止中に湯切れしそうな場合は、沸き増しスイッチを押してください。
沸き増し停止が解除され、沸き増し運転を開始します。
- 夜間時間帯に沸き増し停止スイッチを押すと、音声で「受付できません 確認してください」とお知らせし、ドット表示部に「受付できません」と表示します。

ふろ自動運転

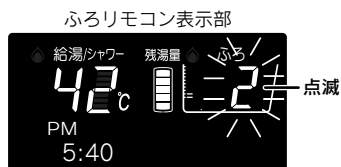
●自動的に浴そうにお湯はり《自動お湯はり》を行い、その後自動たし湯・自動保温を行う運転です。

1 浴そうに排水栓とふたをする



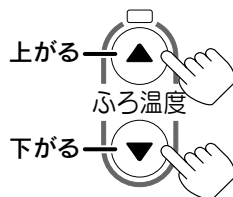
設置後初めてお湯はりを行う場合は、必ず浴そうを空にしてください。

2 ふろリモコンの水位スイッチを押す



水位は循環口の高さから1段目は約10～15cm、2段目以上は約4cmずつ増えます。設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

3 ふろ温度調節スイッチを押す

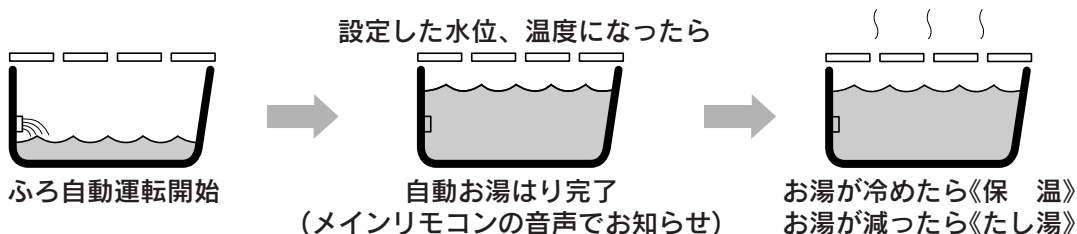


約35～48℃の範囲で調節できます。
設定を変更すると、音声で「ふろ温度が変更されました」とお知らせします。

4 ふろ自動スイッチを押す



ふろ自動ランプが点灯し、ドット表示部に「お湯はりをします」と表示して、お湯はりを開始します。残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。



5 ふろ自動運転終了

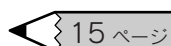
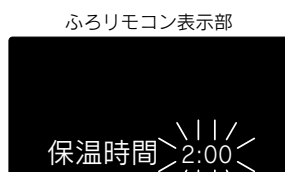
設定した水位までお湯はりすると自動的に停止します。
 ふろ設定温度に沸き上げると、メインリモコンの音声で「おふろが沸きました」とお知らせし、ドット表示部に「おふろが沸きました」と表示して、保温を開始します。
 その後お湯が冷めたら、保温してふろ設定温度に保ちます。
 保温中はふろ自動ランプが点滅し、メインリモコンのドット表示部に「保温中」と表示します。

お知らせ

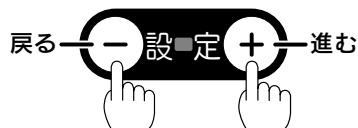
- 工場出荷時は、水位(お湯はり量)を2段目に設定しています。
- 途中で停止するときは、ふろ自動スイッチを押してください。(ふろ自動ランプが消灯します。)
- 前日の残り湯を使用すると、使用状況によっては湯切れすることがあります。
- 次回からは「1」・「4」を行うだけでふろ自動運転を開始しますが、やけど防止のためふろ設定温度は確認してください。
- 一度水位を設定すると毎回同じ量でお湯はりができます。
- 保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで沸き上げます。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、水位設定を高めにするると浴そうから湯があふれる場合があります。
- 試運転時(設置後最初に運転するときのみ)に、浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転をしようするとエラーコード「F00」が出て運転を停止します。
 このときは、浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。

保温時間の設定(ふろリモコン)

- 1 ふろリモコンの選択スイッチを押して「保温時間」を表示させる



- 2 設定スイッチを押す



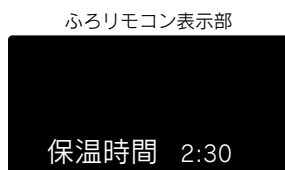
ふろリモコン表示部



希望の保温時間に合わせます。
設定スイッチを押すと保温時間が

2:00⇔2:30・・・4:00⇔0:00・・・1:30
と変わります。

- 3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、通常の表示に戻ります。

- 4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

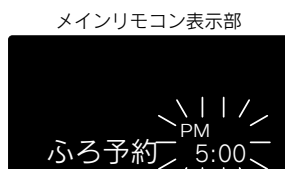
お知らせ

- 工場出荷時は保温時間を「2時間」に設定しています。(最大4時間)
- 保温時間中に浴そうの水を抜くとエラーコード「F03」が出て運転を停止します。
このときは、ふろリモコンのふろリモコン入/切スイッチを「切」にすることでリセットできます。

ふろ予約運転(メインリモコン)

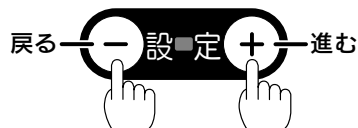
●設定した時刻にお湯はりが完了するように、ふろ自動運転の予約ができます。

1 メインリモコンの選択スイッチを押して「ふろ予約」を表示させる

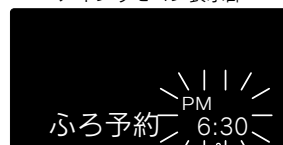


15 ページ

2 設定スイッチを押す



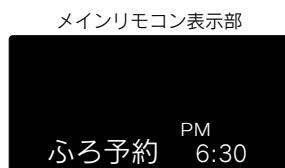
メインリモコン表示部



点滅

希望の予約時刻に合わせます。
1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

4 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

5 ふろ予約スイッチを押す



音声で「お湯はりが予約されました」とお知らせし、ふろ予約ランプが点灯します。

ふろ予約運転の解除

メインリモコンのふろ予約スイッチを再度押すと、ふろ予約運転が解除されます。

お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認してください。
- お湯はりの水位や沸き上げ温度は、ふろ自動運転と同じ設定になります。
- 予約中に停電すると、予約が解除されることがあります。
- 次回からは「5」を行うだけでほぼ同じ時刻にお湯はりが完了します。
- 当日のふろ自動運転の予約は、予約時刻の30分以上前に設定してください。

高温たし湯運転(ふろリモコン)

- 60℃のお湯を約30L たし湯し、ふろの温度を上げます。

1 ふろリモコンの 高温たし湯スイッチを 押す



音声で「あついお湯をたします」とお知らせし、高温たし湯ランプが点灯します。
ドット表示部に「あついお湯をたします」、「高温たし湯中」と「高温 (高温マーク)」を表示し、高温たし湯を開始します。

2 高温たし湯運転終了

60℃のお湯を約30L たし湯すると、自動的に高温たし湯運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときは、ふろリモコンの高温たし湯スイッチを押してください。(高温たし湯ランプが消灯します。)

警告

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れてください。
また、浴そうにお湯がないときは、高温たし湯スイッチは押さないでください。
やけどのおそれがあります。

たし湯運転(ふろリモコン)

●ふろ設定温度のお湯を約 20L たし湯し、浴そうのお湯の量を増やします。

1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチを押す



約 35 ~ 48℃の範囲で調節できます。

2 たし湯スイッチを押す



音声で「お湯をたします」とお知らせし、たし湯ランプが点灯します。
ドット表示部に「お湯をたします」、「たし湯中」と表示し、たし湯を開始します。

3 たし湯運転終了

設定温度のお湯を約 20L たし湯すると、自動的にたし湯運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときは、ふろリモコンのたし湯スイッチを押してください。
(たし湯ランプが消灯します。)

さし水運転(ふろリモコン)

●約 10L の水をさし水してふろの温度を下げます。

1 ふろリモコンのさし水スイッチを押す



音声で「水をたします」とお知らせし、さし水ランプが点灯します。
ドット表示部に「水をたします」、「さし水中」と表示し、さし水を開始します。

2 さし水運転終了

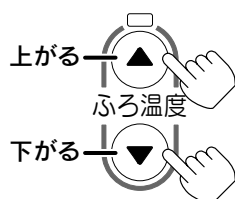
約 10L さし水すると、自動的にさし水運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときは、ふろリモコンのさし水スイッチを押してください。
(さし水ランプが消灯します。)
- さし水運転終了後の温度は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。

追いだき運転(ふろリモコン)

1 ふろリモコンのふろ温度調節スイッチを押す



約 35 ～ 48℃ の範囲で調節できます。

2 追いだきスイッチを押す



音声で「追いだきをします あついお湯が出ます」とお知らせし、追いだきランプが点灯します。
ドット表示部に「追いだきをします」、「あついお湯が出ます」、「追いだき中」と「高温(高温マーク)」を表示し、追いだき運転を開始します。

3 追いだき運転終了

お湯の温度が設定温度より低い場合は設定温度まで追いだきし、お湯の温度が設定温度以上の場合は、お湯の温度 + 1℃ まで追いだきして、自動的に運転を終了します。
(最高 48℃ まで追いだき運転をします。)

お知らせ

- 前日の残り湯で追いだき運転をすると、使用状況によっては湯切れすることがあります。
- 途中で停止するときは、ふろリモコンの追いだきスイッチを押してください。
(追いだきランプが消灯します。)
- 追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。
- 頻繁に追いだき運転をする場合は、沸き上げ設定を「多め[湯量レベル 3 または 4]」にするか、沸き増し運転の「満タン」を行ってください。(湯切れの原因になります。)

19～22ページ

- 貯湯タンク内の温度が低い場合は、追いだき運転を受け付けられないことがあります。

35ページ

お願い

浴そうの水が循環口から約 10cm 以上ある状態で使用してください。

チャイルドロックの設定 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

- お子様のいたずらによる運転開始、温度変更などを防止します。
-  が点灯しているときは、通話スイッチとナビスイッチの操作のみ受け付けます。
その他のスイッチを押すと、音声で「チャイルドロックが設定されています」とお知らせします。

選択スイッチを約 3 秒間 押す



音声で「チャイルドロックが設定されました」とお知らせし、ドット表示部に  を表示します。

チャイルドロックの解除

選択スイッチを約 3 秒間押します。
ドット表示部の  が消灯します。

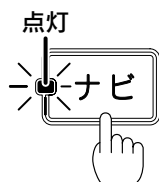
お知らせ

- チャイルドロックはリモコンごとに設定することができます。
- 運転中・停止中に関係なくチャイルドロックの設定ができます。
- 停電すると設定が解除されます。

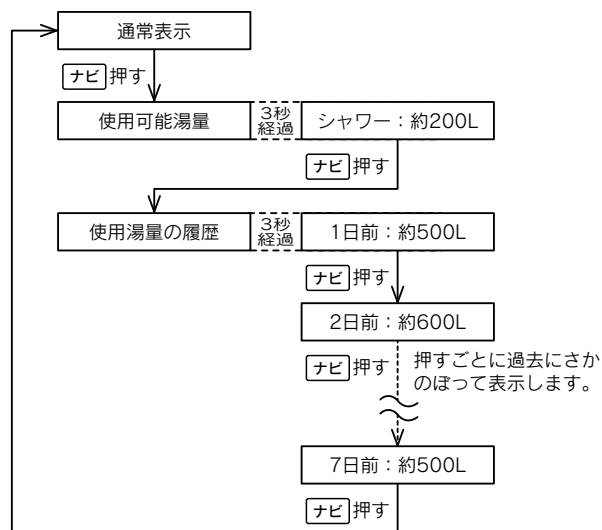
ナビ表示(メインリモコン)

- メインリモコンのナビスイッチを押すごとに、使用可能湯量および使用湯量の履歴(過去 7 日間の使用湯量)を確認できます。

メインリモコンのナビ スイッチを押す



ナビランプが点灯し、ドット表示部に使用可能湯量および使用湯量の履歴(過去 7 日間の使用湯量)を表示します。



使用湯量のデータはAM5:00に更新されます。

お知らせ

- 30 秒経過またはふたを閉じることで元の表示に戻ります。
- 湯量は給湯温度 42℃ 換算のめやすです。

お知らせ表示 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

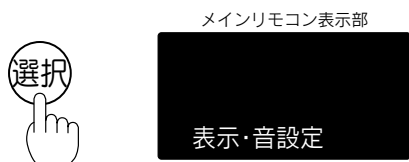
- 「お知らせ[入]」に設定した場合に、下記の内容をドット表示と音声でお知らせします。
工場出荷時は「入」に設定しています。

「使用量多め」表示	●現在の使用湯量のペースが、過去の実績から予測される使用ペースに比べて極端に早い場合にお知らせします。 メインリモコン・サブリモコン表示部  ふろリモコン表示部  …メインリモコンの音声で「必要に応じて沸き増しをおすすめします」とお知らせします。 ●メインリモコンはふたを開くと、通常の表示に戻ります。 (ふたを閉じると再度表示します。)
「使用可能湯量」表示	●残湯量表示が2つから1つになったときに、使用可能湯量をお知らせします。 メインリモコン・サブリモコン表示部  5秒ごとに点滅 ふろリモコン表示部  5秒ごとに点滅 …メインリモコンの音声で「必要に応じて沸き増しをおすすめします」とお知らせします。 ●ドット表示部に、使用可能湯量を「シャワー：約 200L」(例)のように表示します。 (5 秒ごとに点滅表示します。) ●使用可能湯量は水温によって変化します。 ●使用可能湯量と残湯量表示との相関はありません。 ●メインリモコンはふたを開くと、通常の表示に戻ります。 (ふたを閉じると再度表示します。)
「追いだき情報」表示	●残湯量から判断して「追 (追いだき注意マーク)」または「追 (追いだき不可マーク)」を表示して、追いだき情報をお知らせします。 メインリモコン表示部  ↓ メインリモコン表示部  ふろリモコン表示部  ↓ ふろリモコン表示部  …メインリモコンの音声で「必要に応じて沸き増しをおすすめします」とお知らせします。 追いだき運転中または追いだきスイッチを押すと、ふろリモコンの音声で「お湯が少なくなりました」とお知らせし、ドット表示部に「追いだきできません」と表示します。 ●サブリモコンには表示しません。

- お知らせ表示があった場合は、必要に応じて沸き増し運転を行ってください。

お知らせ表示の設定(メインリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる

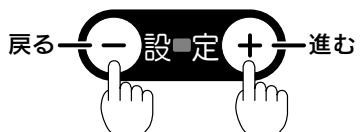


15 ページ

2 確定スイッチを押す



3 設定スイッチを押す



希望の設定に合わせます。
 [入] ↔ [切] と切り替わります。

4 確定スイッチを押す

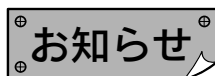


設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
 この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

5 再度、確定スイッチを押す



通常表示に戻ります。

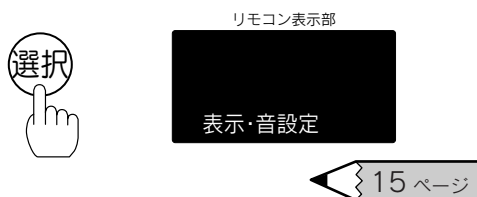


●工場出荷時は「入」に設定しています。

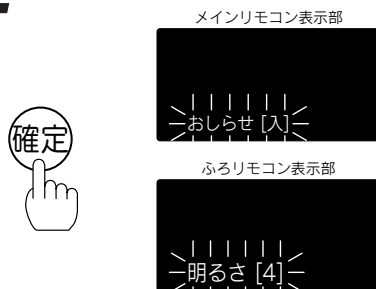
表示部の明るさ設定 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

●サブリモコンの設定は **3** からです。

1 選択スイッチを押して 「表示・音設定」を表示 させる

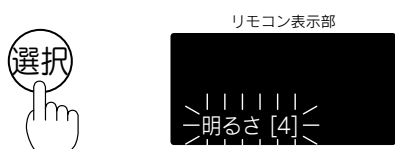


2 確定スイッチを押す

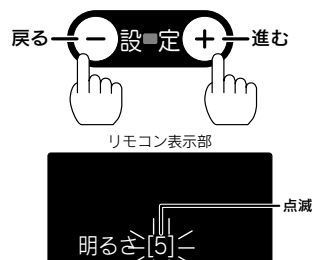


3 選択スイッチを押して 「明るさ」を表示させる

ふろリモコンはとばします。



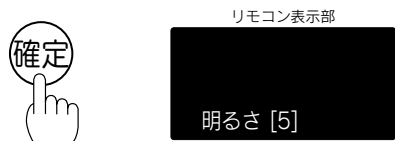
4 設定スイッチを押す



希望の明るさに合わせます。

1⇔2...6⇔7 の順で変更されます。
(暗) (明)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを 押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

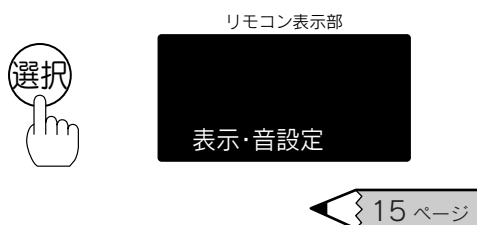
●工場出荷時は「4」に設定しています。

●表示部の明るさはリモコンごとに設定することができます。

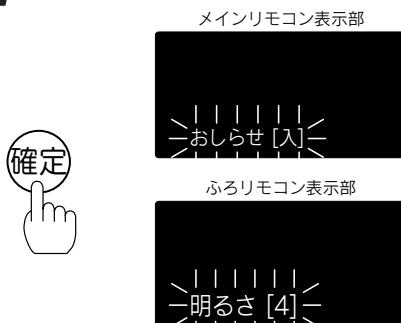
表示部のコントラスト設定 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

●サブリモコンの設定は **3** からです。

1 選択スイッチを押して 「表示・音設定」を表示 させる



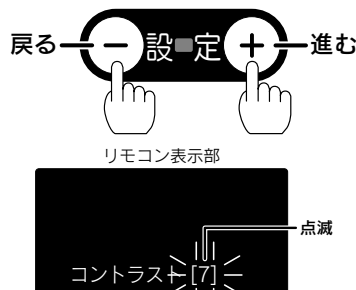
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して 「コントラスト」を表示 させる



4 設定スイッチを押す



希望のコントラストに合わせます。
1⇔2...8⇔9 の順で変更されます。
(淡) (濃)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを 押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「5」に設定しています。
- 表示部のコントラストはリモコンごとに設定することができます。

表示モード設定について

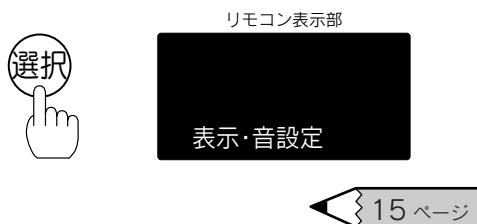
●表示部バックライトの点灯状態を設定することができます。

自動 1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗くなり節約モードになります。(操作終了約 25 分後より)
自動 2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了約 25 分後より)
入	常に設定した明るさで表示します。
切	常にバックライトを消灯します。

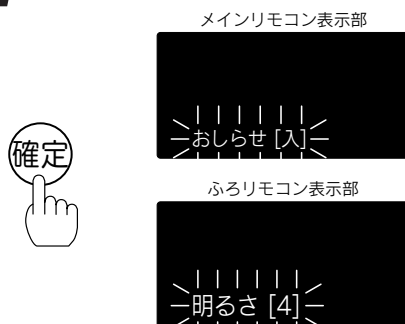
表示モード設定 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

●サブリモコンの設定は **3** からです。

1 選択スイッチを押して 「表示・音設定」を表示 させる



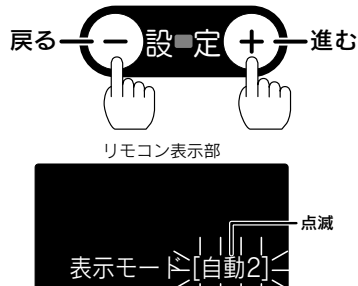
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して 「表示モード」を表示さ せる



4 設定スイッチを押す



希望の表示モードに合わせます。

「自動 1 ⇄ 自動 2 ⇄ 入 ⇄ 切」の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す

リモコン表示部



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



メインリモコン表示部



ふろリモコン表示部



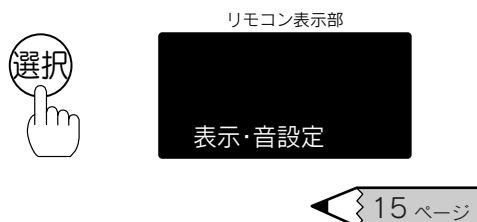
通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「自動 1」に設定しています。
- 表示モードはリモコンごとに設定することができます。

ガイド音量設定(メインリモコン・ふろリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



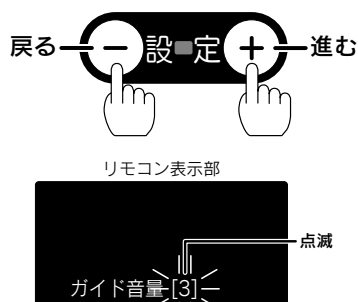
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「ガイド音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の音量に合わせます。
0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(切) (小) (中) (大)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、変更した音量で「変更されました」とお知らせします。
この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

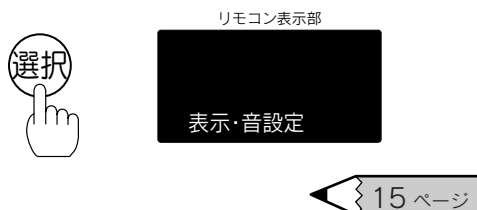
お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- メインリモコン、ふろリモコンのガイド音量は別々に設定することができます。

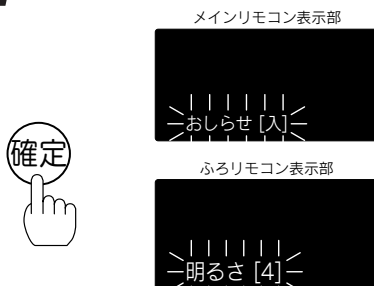
操作音量設定 (メインリモコン・ふろリモコン・サブリモコン)

●サブリモコンの設定は **3** からです。

1 選択スイッチを押して 「表示・音設定」を表示させる



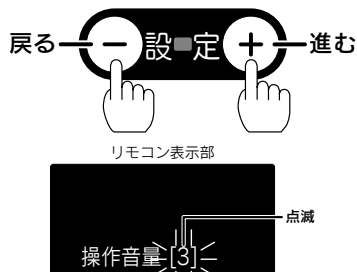
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して 「操作音量」を表示させる



4 設定スイッチを押す



希望の音量に合わせます。

0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(切) (小) (中) (大)

(サブリモコンは OFF/ON 設定)

このとき変更した音量で操作音が鳴ります。

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「2」に設定しています。

●操作音量はリモコンごとに設定することができます。

インターホンの使いかた

- メインリモコン、ふろリモコンのどちらからでも通話できます。

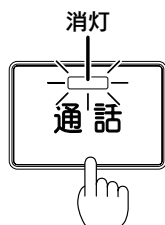
通話スイッチを押して通話を開始する



通話ランプの状態	通話状態
ランプが点灯	話することができます。
ランプが点滅	話を受けている状態です。 話すことはできません。

メインリモコンとふろリモコンの通話ランプが点灯して、呼び出し音が鳴ります。

通話を終了する

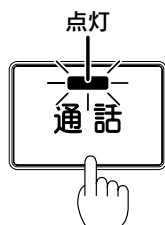


通話スイッチを押します。通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。または、設定した通話時間が経過すると、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

47 ページ

話さなかったり、音がしない状態が1分間続いた場合でも、自動的に通話状態が終了します。

通話ランプが点滅中に話したいとき



通話スイッチを押しながら話します。

⚠ 注意

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しないでください。
大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

お願い

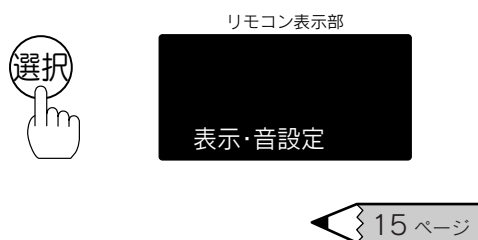
メインリモコンとふろリモコンの設置場所が近い場合に、通話をするとうハウリング（キーン等の大きな音がする現象）を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡してリモコンの設置場所や向きを変更してください。

お知らせ

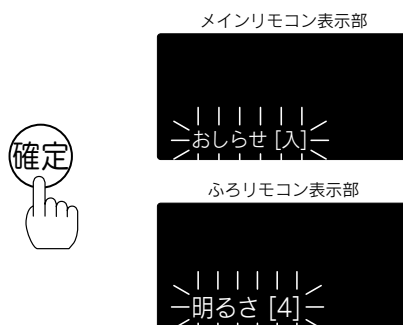
- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、ふろリモコンからの通話モードになっています。
- 話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声途切れることがあります。
- 音声途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声聞きとりにくいことがあります。
- 自動的に通話状態を終了するときは、音声で「通話を終了します」とお知らせします。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。

インターホンの通話音量設定(メインリモコン・ふろリモコン)

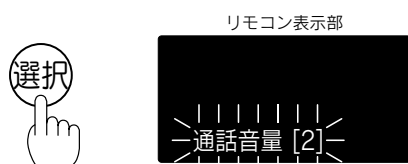
1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



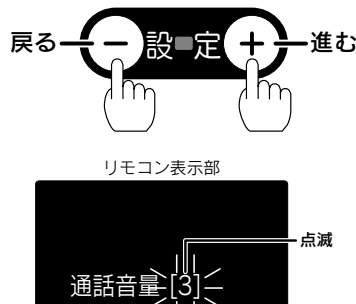
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「通話音量」を表示させる

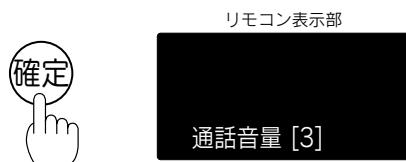


4 設定スイッチを押す



希望の音量に合わせます。
1 ⇄ 2 ⇄ 3 の順で変更されます。
(小) (中) (大)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、変更した音量で「変更されました」とお知らせします。
メインリモコンは、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 工場出荷時は「2」に設定しています。
- メインリモコン、ふろリモコンのインターホンの通話音量は別々に設定することができます。

インターホンの通話方式について

- リモコンの通話方式には「ハンズフリー方式(H)」と「プレストーク方式(P)」があります。

ハンズフリー方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は手を離した状態で通話できます。(43 ページの説明がハンズフリー方式での通話方法です。工場出荷時はこの方式に設定されています。)

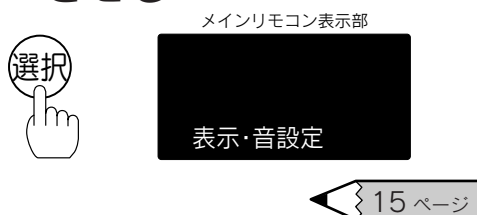
プレストーク方式

通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押し、メインリモコンから浴室に話しかけるときのにはメインリモコンの通話スイッチを押しながら話す方法です。浴室内の音を常時メインリモコンでモニターしていますので、ふろリモコンからは通話スイッチを押さなくても話ができます。

- ハンズフリー方式ではメインリモコンの周囲が騒々しいとふろリモコンの通話ランプが点滅して、ふろリモコンからの通話ができないことがあります。
- プレストーク方式ではメインリモコンの通話ランプは常に点灯していますが通話状態にはなりません。通話するときは通話スイッチを押しながら行ってください。

インターホンの通話方式設定(メインリモコン)

1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



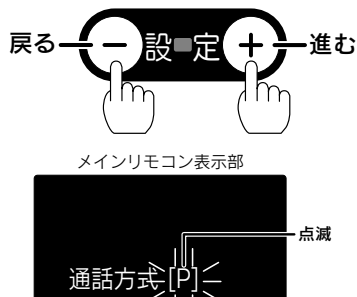
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「通話方式」を表示させる



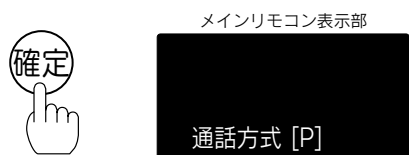
4 設定スイッチを押す



希望の設定に合わせます。

→ H ↔ P ← と切り替わります。
(ハンズフリー) (プレストーク)

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、次の設定モードに切り替わります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

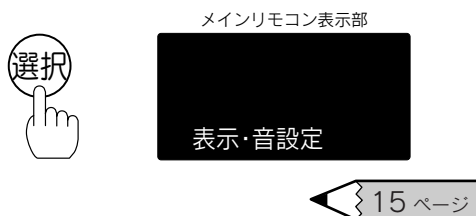
お知らせ

●工場出荷時は「H」に設定しています。

インターホンの通話終了時間設定(メインリモコン)

●通話を始めてから自動的に通話状態が終了するまでの時間を設定することができます。

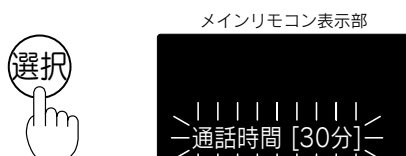
1 選択スイッチを押して「表示・音設定」を表示させる



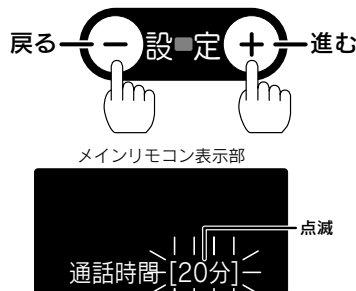
2 確定スイッチを押す



3 選択スイッチを押して「通話時間」を表示させる



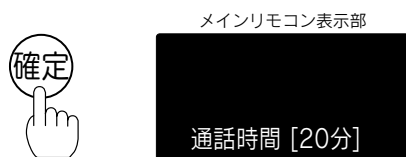
4 設定スイッチを押す



希望の時間に合わせます。

1 ⇄ 5 ⇄ 10 ⇄ 20...60(分) の順で変更されます。

5 確定スイッチを押す



設定を変更すると、音声で「変更されました」とお知らせします。

この後、続けて選択スイッチを押すと、通常の表示に戻ります。

6 再度、確定スイッチを押す



通常の表示に戻ります。

お知らせ

●工場出荷時は「30分」に設定しています。

配管洗浄(ふろリモコン)

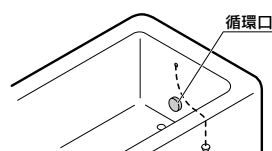
■配管内の浴水を排水する場合

●配管にきれいな水(約 5L)を流して配管内に残った浴水を排水します。

1 ふろリモコン入/切 スイッチを「入」にする



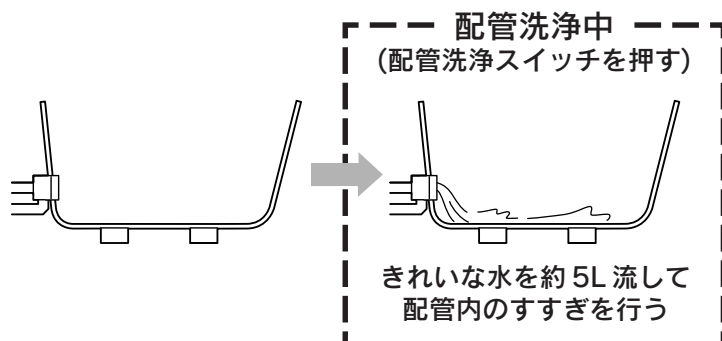
2 浴そうの水位を確認する



浴そうの排水栓を抜くまたは、残り湯(水)が循環口より下にあることを確認してください。

3 配管洗浄スイッチを押す

音声で「配管を洗浄します」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。
ドット表示部に「配管洗浄中」と表示し、配管洗浄を開始します。



4 配管洗浄終了



配管洗浄ランプが消灯します。

使用方法

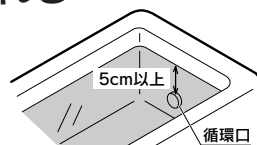
■配管洗浄剤を使用して配管洗浄する場合

●浴そう内の水を循環させ配管を洗浄します。

1 ふろリモコン入/切 スイッチを「入」にする



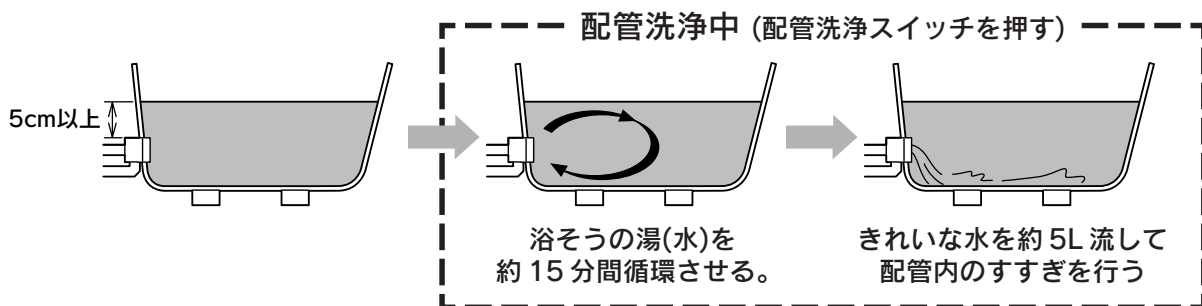
2 浴そうの水位を確認し、 長府指定の配管洗浄剤 (強制循環式風呂釜用)を 入れる



残り湯(水)が循環口より約5cm以上あることを確認し、浴そうに配管洗浄剤を入れてよく溶かしてください。

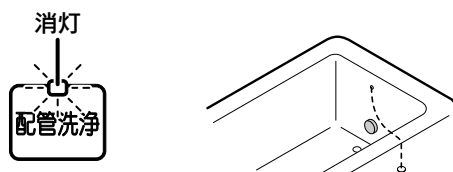
3 配管洗浄スイッチを押す

音声で「配管を洗浄します」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。
ドット表示部に「配管洗浄中」と表示し、配管洗浄を開始します。



4 配管洗浄終了

配管洗浄ランプが消灯します。
残り湯(水)を排水して、浴そうをよく水洗いしてください。



使用上の注意

⚠ 警告

1 やけどに注意

給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。

⚠ 注意

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。

56 ページ 

3 感電に注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。また操作部のふたを開いたままにしないでください。雨水やホコリ等が入り、ショート・感電・漏電の原因になります。

4 機器内の水について

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、水質が変わることがあります。飲用、または調理に使用しないでください。

5 日常の点検・手入れを行う

57～59 ページ 

停電したとき

- 約 6 時間以内の停電であれば、停電後も現在時刻や設定温度は記憶していますが、現在時刻や設定温度が合っていない場合は設定し直してください。
- 夜間時間帯に停電した場合は、翌朝までに沸き上がらない場合があります。

地震などの被害があったとき

- 機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 1 カ月以上使用しない場合は、以下の手順に従って水抜きを行ってください。
- 1 カ月以内の短期間の場合は、数日間運転を停止する方法[停止日数設定]に従ってください。

24・25 ページ

警告

排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。
熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意してください。

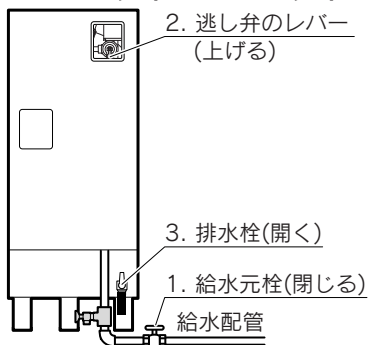
注意

熱湯は冷めてから排水してください。

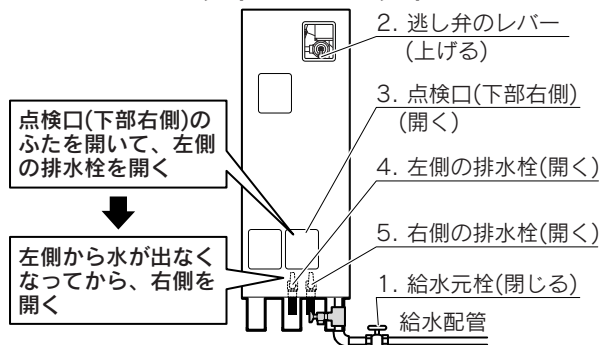
1. 貯湯ユニットの水抜き ●貯湯ユニットの水を抜く場合は販売店にご相談ください。

- ・ 給水元栓を閉じる
- ・ 逃し弁のレバーをゆっくり上げ、排水栓をゆっくり開き水を抜く

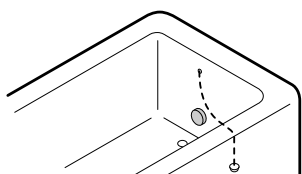
3733タイプ・3743タイプ・4643タイプ



3753タイプ・4653タイプ



2 浴そうの排水栓を抜く

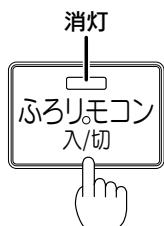


3 配管洗浄スイッチを「入」にする



配管洗浄スイッチを押して、配管内の水を出します。

4 ふろリモコン入/切スイッチを「切」にする

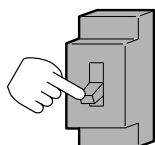


循環口から水が出なくなったら、ふろリモコン入/切スイッチを「切」にします。

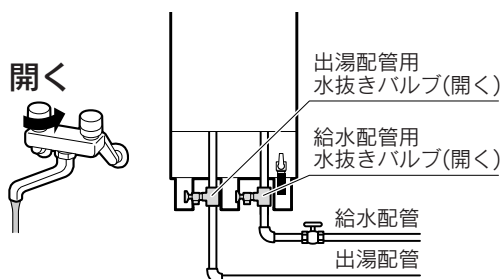
5 メインリモコンの沸き増し停止スイッチを押す



6 200V 電源ブレーカを「切」にする

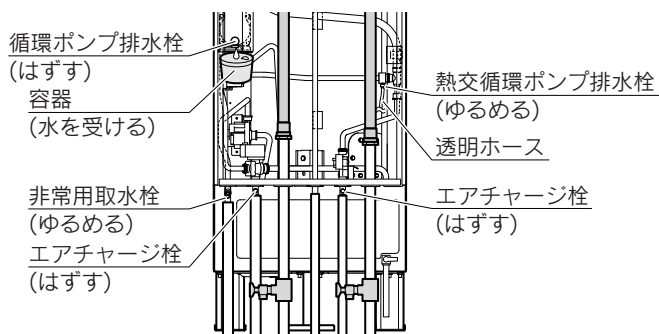


7 給湯じゃ口、各水抜きバルブを開く



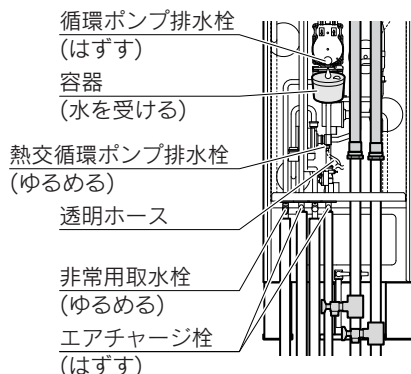
8 ・熱交循環ポンプ排水栓をゆるめて水を抜く ・循環ポンプ排水栓、エアチャージ栓(2カ所)をはずし、 非常用取水栓をゆるめて水を抜く

3733タイプ・3743タイプ・4643タイプ



イラストはET-3733GPXHです。

3753タイプ・4653タイプ



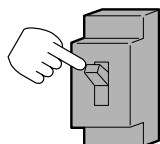
イラストはET-3753GPXHTです。

循環ポンプ排水栓をはずすと、水が出ますので容器等で受けてください。

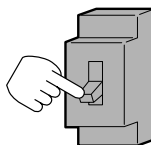
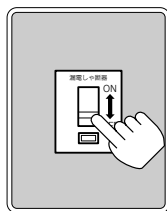
- 9** 排水栓から水が出なくなったら、減圧逆止弁の水フィルタぐちを押して水を抜く



- 10** 前パネルを閉じ、200V 電源ブレーカを「入」にする

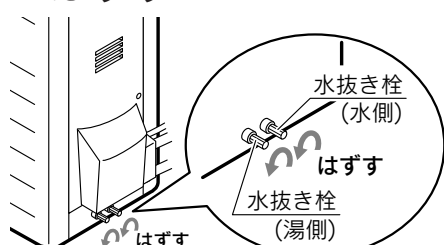


- 11** 約 1 分後に漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、200V 電源ブレーカを「切」にする

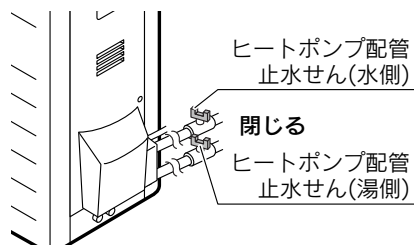


2. ヒートポンプユニットの水抜き

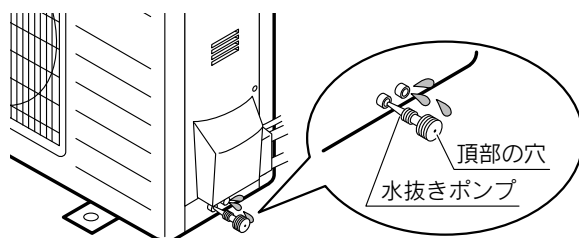
1 ヒートポンプユニットの水抜き栓(2カ所)をはずす



2 ヒートポンプ配管止水せん(2カ所)を閉じる



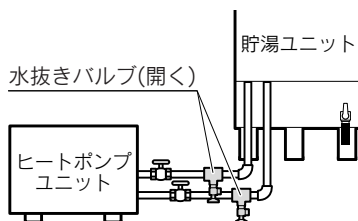
3 左側の水抜き栓(湯側)の穴に、付属の水抜きポンプを差し込み空気を入れる



水抜きポンプ頂部の穴を手のひらで押さえながら空気を押し込みます。

右側の水抜き栓(水側)の穴から水、またはお湯が出なくなるまで約 10 回程度繰り返します。

4 ヒートポンプユニットの水抜きバルブ(水側、湯側共に)を開く



お知らせ

- 水抜きが終了したら貯湯ユニットの逃し弁のレバーを下げ、排水栓、各水抜きバルブ、熱交循環ポンプ排水栓、非常用取水栓を閉じ、循環ポンプ排水栓、エアチャージ栓(2カ所)を取り付け、ヒートポンプユニットの水抜き栓を取り付け、水抜きバルブを閉じてください。
- 付属の水抜きポンプは使用後、必ず保管してください。
- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず充分に保温してください。
- 再度使用する場合は販売店にご相談ください。

災害時などにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

⚠ 警告

お湯が冷めてから取水してください。
熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

1 操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、ふたを閉じ、貯湯ユニットの給水元栓を閉じる

2 点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる

3 ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓にホース(現地手配)を取り付ける

3753タイプ・4653タイプは点検口(下部左側)のふたを開いて、ホースを取り付けます。

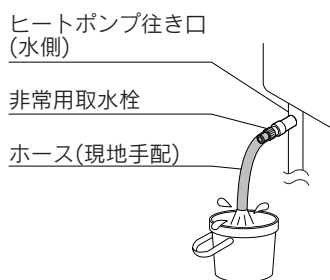
4 ヒートポンプ行き口(水側)の非常用取水栓をゆるめる

非常用取水栓は3回以上回さないでください。非常用取水栓がはずれます。

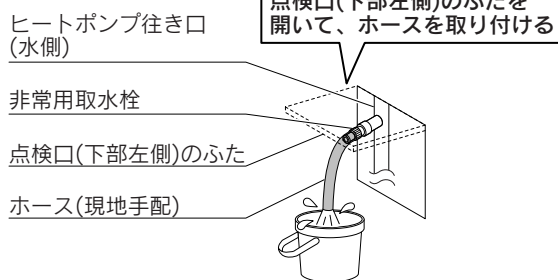
貯湯タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて取り出します。

出始めに湯あかやゴミが出ることがあります。

3733タイプ・3743タイプ・4643タイプ



3753タイプ・4653タイプ



取水が終わったら、

非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて点検口のふたを閉じてください。

Ⓢ お知らせ Ⓢ

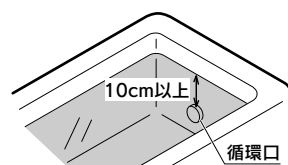
●再度使用する場合は販売店にご相談ください。

凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。必ず配管の保温工事を行い、冬期には充分注意してください。
- 凍結のおそれのある地域では配管やバルブ類に市販の凍結予防ヒータで充分な保温工事を行ってください。
- 寒冷地ではユニット間の配管に厚さ 20mm 以上の保温材を使用してください。
- ふろ配管の凍結予防をするために、ふろ配管も必ず保温してください。
- 凍結が予測される場合は浴そうの水を抜かないでください。
- 万が一凍結した場合は、溶けるまで使用しないでください。
- 屋外温度が約 10℃ 以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動し、お湯が循環します。異常ではありません。

1 凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認



必ず循環口より約 10cm 以上給水してください。

浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。

2 水を抜く方法

「長期間使用しない場合」に従って水を抜いてください。

51～54 ページ

⚠ 注意

冬期に水抜きをしない場合は、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしないでください。配管が凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
漏 電 遮 断 器	万一漏電したときに自動的に電源を切ります。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法 毎日

周囲の可燃物

⚠ 警告

機器の周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。



確認



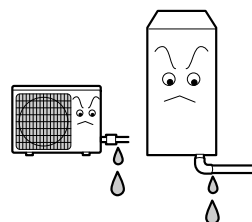
水漏れ

⚠ 注意

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。
ただし、沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ます。



確認



1 カ月に 1 回以上

漏電遮断器の作動確認

⚠ 警告

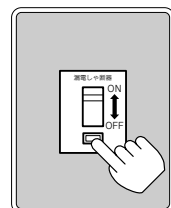
- (1) アースが接続されていることを確認します。
- (2) 操作部のふたを開きます。
- (3) 漏電遮断器のテストボタンを押します。

「ON」になっている漏電遮断器のレバーが「OFF」になると正常です。

- (4) 正常であれば漏電遮断器のレバーを「ON」にして、操作部のふたを閉じます。



確認



アースの確認

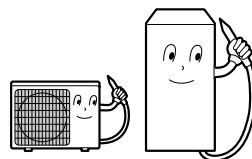


警告

アース線が途中で切れていないか確認してください。



アースをする



逃し弁の確認



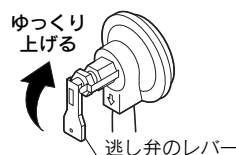
警告

逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。
また、レバーを急に上げると熱湯が吹き出ることがありますので、
ゆっくり操作してください。

- (1)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを開きます。
- (2)逃し弁のレバーをゆっくり上げて逃し弁の排水ホース
から水が出ることを確認します。
- (3)レバーを下げて、水が止まることを確認します。
- (4)レバーの上げ下げを数回繰り返して、水アカやゴミを
流します。
- (5)点検口(負圧作動弁付逃し弁)のふたを閉じます。



高温注意



1 年に 1 回以上

貯湯タンクのお手入れ



警告

排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。
熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますのでやけどに注意
してください。

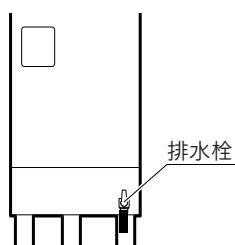


注意

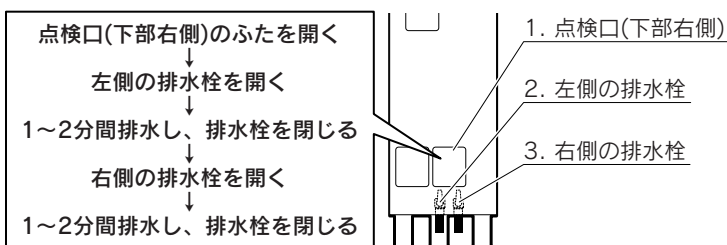
熱湯は冷めてから排水してください。

- (1)排水栓をゆっくり開いて 1 ～ 2 分間排水します。
- (2)排水がきれいになったら排水栓を閉じます。

3733タイプ・3743タイプ
4643タイプ



3753タイプ・4653タイプ



使
上
手
に
ね

減圧逆止弁の水フィルタの点検

減圧逆止弁の水フィルタにゴミが詰まると水が出にくくなりますので、販売店に点検を依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

故障・異常の見分けかたと処置方法

サービスを依頼される前に

- 次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓を閉じていませんか。 ●凍結していませんか。
お湯が沸かない	●漏電遮断器のレバーが「OFF」になっていませんか。
お湯がぬるい お湯が足りない	●お湯を使いすぎていませんか。シャワーを使うときや、洗いのをするときはお湯をこまめに止めてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●逃し弁のゴミかみにより水が漏れていませんか。 ●排水栓が開いていませんか。 ●給湯設定温度・沸き上げ設定は適切ですか。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●追いだき運転を頻繁にいませんか。 ●残り湯で追いだき運転をしていませんか。

58 ページ

現 象	説 明
汚れたお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。
お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。
逃し弁から水が出る	●沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ますが、異常ではありません。
夜間時間帯になっても沸き上げ運転を始めない	●通電制御型のエコキュートは水温と残湯量によってはすぐに沸き上げ運転しないことがあります。翌朝沸き上がっていれば正常です。
夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●昼間の残湯があるときは、夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がることがあります。
沸き上げ設定が「おまかせ」または「深夜のみ」で湯切れした	●「おまかせ」設定では過去 7 日間のお湯の使用量からマイコンが湯量を設定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。また「深夜のみ」設定では、冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。このようなときは沸き増し運転の「満タン」に設定して、しばらくお待ちください。
寒いとき沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが動く音がする	●屋外温度が約 10℃ 以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動し、お湯が循環します。異常ではありません。
断水のときお湯が出ない	●断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。下記の処置を行ってください。 1. 貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーを「OFF」にする。 2. 貯湯ユニットの給水元栓を閉じる。 ●再び使用するときは給水じゃ口から汚れた水が出ないことを確認して貯湯ユニットの給水元栓を開き、給湯じゃ口からお湯(水)が出ることを確認し、漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。
お湯から油が出る お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期運転中は霜がつくことがあります。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取り除くと、水や湯気となり出てきます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
沸き上げ停止中にヒートポンプユニットのファンが回る	沸き上げが停止した直後 ●保護のため約 1 分間はヒートポンプユニットのファンが回ります。 沸き上げが停止しているとき ●真夏など外気温が高いときは保護のためにヒートポンプユニットのファンが回ることがあります。
沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約 3 分後に自動的に運転を再開します。

エラーコード(警報)表示

エラーコード(警報)はリモコンのドット表示部に表示されます。
エラーコードが表示された場合は次ページに従って処置を行ってください。

■貯湯ユニット

	エラーコード	原 因	確認・処置
※1	740	メインリモコン通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※1	750	ふろリモコン・サブリモコン通信異常	
※2	760	リモコン通信異常	
※2	E16	給湯高温検知	断水しませんでしたか。
※2	E31	給湯サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※4	E32	給水サーミスタ異常	
※2	E65	給湯混合弁異常	
※3	F00	初回残り湯検知	浴そうの水を一度全部抜いてから、再度ふろ自動運転を行ってください。
※3	F03	お湯はり時間超過	排水栓が抜けていませんか。 お湯はりに断水しませんでしたか。
※3	F16	お湯はり高温検知	お湯はりに断水しませんでしたか。
※3	F25	水流スイッチ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3	F31	お湯はりサーミスタ異常	
※3	F32	ふろサーミスタ異常	
※3	F43	水位センサ異常	
※3	F45	熱交換ポンプ異常	
※3	F56	お湯はり異常	お湯はりに断水しませんでしたか。
※3	F63	ふろ循環異常	排水栓が抜けていませんか。
※3	F65	お湯はり混合弁異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2	H15	缶体高温検知	
※2	H30	缶体上サーミスタ異常	
※4	H31	残湯量サーミスタ1異常	
※4	H32	残湯量サーミスタ2異常	
※4	H33	残湯量サーミスタ3異常	
※4	H34	残湯量サーミスタ4異常	
※4	H35	残湯量サーミスタ5異常	
※5	H70	電源周波数異常	
※2	U45	沸き上げポンプ異常	
※2	U54	三方弁異常	
※5	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常	
※5	U76		

■ヒートポンプユニット

	エラーコード	原 因
※1	E1	制御基板不良
※1	E3	高圧圧力異常による停止
※1	E6	圧縮機起動不良
※1	E7	室外ファンロック
※1	E8	入力過電流検出による停止
※1	EC	出湯温度系異常による停止
※1	F3	吐出管温度制御による停止
※1	FA	ピークカット異常による停止
※1	H0	電圧・電源センサ不良
※1	H3	高圧圧力スイッチ系による停止
※1	H6	位置検出センサ不良による停止
※1	H8	CT系異常検出による停止
※4	H9	外気サーミスタ異常
※4	HC	出湯サーミスタ異常

	エラーコード	原 因
※1	HJ	循環水系統不良
※1	J3	吐出サーミスタ異常
※4	J6	熱交温度サーミスタ異常
※4	J8	入水サーミスタ異常
※5	L3	電装品箱内温度異常
※5	L4	放熱フィン温度異常
※1	L5	出力過電流検出による停止
※4	P4	放熱フィンサーミスタ系異常
※5	U0	ガス欠検出による停止
※1	U2	電源電圧系異常
※5	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常
※5	U7	マイコン間通信異常
※1	UF	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間誤配管検出

警報解除の方法

※1印のエラーコード(警報)は、

《貯湯ユニットの場合》…漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にしてから、制御基板上のリセットスイッチを押すことで警報解除できますが、感電のおそれがあり危険です。お客様自身では行わず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

《ヒートポンプユニットの場合》…漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にします。

※2印のエラーコード(警報)は、リモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることで警報解除できます。警報解除しても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※3印のエラーコード(警報)は、ふろリモコンのふろリモコン入/切スイッチを「切」にする、またはリモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることでリセットできます。

リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※4印のエラーコード(警報)は、正常温度検出で自動復帰します。

※5印のエラーコード(警報)は、正常動作で自動復帰します。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず長府自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

故障かな？

■システム

形 名	EHP-3733GPXH EHP-3733GPXHE2[耐重塩害仕様]	EHP-3733GPXHK[寒冷地仕様]
種 類	自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯機	
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機 能	高圧力型フルオートタイプ	
電 源	単相200V 50/60Hz(制御電源含む)	
運 転 範 囲	-10℃~43℃	-20℃~43℃
最 大 電 流	17A	
電 源 容 量	20A	
付 属 品	取扱説明書、取扱ガイド、工事説明書、試運転ガイド、保証書、水抜きポンプ、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形 名	ET-3733GPXH ET-3733GPXHE2[耐重塩害仕様]	ET-3733GPXHK[寒冷地仕様]
設 置 区 分	屋外(防雨)/屋内兼用型	
タ ン ク 容 量	370L	
貯 湯 タ ン ク 材 質	特殊ステンレス鋼板	
消 費 電 力	熱 交 循 環 ポ ン プ	11W
	ふ ろ 循 環 ポ ン プ	80/105W
	沸 き 上 げ ポ ン プ	8W
	制 御	5W
	凍 結 予 防 ヒ ー タ	- 80W
給 湯 温 度	給 湯 側	約37℃~50℃/55℃/60℃
	浴 所 側	約35℃~48℃/60℃
沸 き 上 げ 温 度	「多 め」: 約75℃~85℃ 「深夜のみ」: 約65℃、約75℃~85℃ 「おまかせ」: 約65℃~90℃	
最 高 使 用 圧 力	190kPa(1.9kgf/cm ²)	
外 形 寸 法	高さ 2,170mm 幅 560mm 奥行 670mm ※高さ寸法に取手(35mm)は含みません。	
騒 音 値	給 湯 時	34dB(A)
	ふ ろ 追 だ き 時	36dB(A)
質 量 (満 水 時)	79kg(449kg)	
安 全 装 置	漏電遮断器	
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 5A	ヒューズ 250V 5A 凍結予防ヒータ用ヒューズ 250V 3A

■ヒートポンプユニット

形 名	EHPE-455 EHPE-455E2[耐重塩害仕様]	EHPE-455K[寒冷地仕様]
設 置 区 分	屋外型	
定格加熱能力/消費電力	4.5/0.98kW	
冬期高温加熱能力/消費電力	4.5/1.35kW	
定 格 運 転 電 流	5.0A	
冬 期 高 温 運 転 電 流	6.9A	
定 格 C O P	4.59	
圧 縮 機 電 動 機 出 力	1.11kW	
フ ァ ン 電 動 機 出 力	53W	
騒 音 値	38dB(A)	40dB(A)
外 形 寸 法	高さ 735mm 幅 825mm(+74mm) 奥行 300mm	
質 量	70kg	
冷 媒 名	R744(CO ₂)	
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 30A	ファン電動機用ヒューズ 250V 3.15A

- 運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。
- この仕様数値は50/60Hz共通です。
- 停止しているときも、約4~13Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
- 外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに約30W(寒冷地仕様は約110W)の電力を消費することがあります。

■システム

形 名	EHP-3743GPXH EHP-3743GPXHE2[耐重塩害仕様]	EHP-3753GPXHT EHP-3753GPXHTE2[耐重塩害仕様]
種 類	自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯機	
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機 能	高圧力型フルオートタイプ	
電 源	単相200V 50/60Hz(制御電源含む)	
運 転 範 囲	-10℃~43℃	
最 大 電 流	17A	
電 源 容 量	20A	
付 属 品	取扱説明書、取扱ガイド、工事説明書、試運転ガイド、保証書、水抜きポンプ、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形 名	ET-3743GPXH ET-3743GPXHE2[耐重塩害仕様]	ET-3753GPXHT ET-3753GPXHTE2[耐重塩害仕様]
設 置 区 分	屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外(防雨)型
タ ン ク 容 量	370L	
貯 湯 タ ン ク 材 質	特殊ステンレス鋼板	
消 費 電 力	熱 交 換 循 環 ポ ン プ	11W
	ふ ろ 循 環 ポ ン プ	80/105W
	沸 き 上 げ ポ ン プ	8W
	制 御	5W
	凍 結 予 防 ヒ ー タ	-
給 湯 温 度	給 湯 側	約37℃~50℃/55℃/60℃
	浴 所 側	約35℃~48℃/60℃
沸 き 上 げ 温 度	「多 め」: 約75℃~85℃ 「深夜のみ」: 約65℃、約75℃~85℃ 「おまかせ」: 約65℃~90℃	
最 高 使 用 圧 力	190kPa(1.9kgf/cm ²)	
外 形 寸 法	高さ 1,860mm 幅 630mm 奥行 730mm ※高さ寸法に取手(35mm)は含みません。	高さ 1,870mm 幅 1,090mm 奥行 445mm ※高さ寸法に取手(35mm)は含みません。
騒 音 値	給 湯 時	34dB(A)
	ふ ろ・追 だ き 時	36dB(A)
質 量 (満 水 時)	76kg(446kg)	102kg(472kg)
安 全 装 置	漏電遮断器	
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 5A	

■ヒートポンプユニット

形 名	EHPE-455 EHPE-455E2[耐重塩害仕様]
設 置 区 分	屋外型
定格加熱能力/消費電力	4.5/0.98kW
冬期高温加熱能力/消費電力	4.5/1.35kW
定 格 運 転 電 流	5.0A
冬 期 高 温 運 転 電 流	6.9A
定 格 C O P	4.59
圧 縮 機 電 動 機 出 力	1.11kW
フ ァ ン 電 動 機 出 力	53W
騒 音 値	38dB(A)
外 形 寸 法	高さ 735mm 幅 825mm(+74mm) 奥行 300mm
質 量	70kg
冷 媒 名	R744(CO ₂)
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 30A ファン電動機用ヒューズ 250V 3.15A

●運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。

●この仕様数値は50/60Hz共通です。

●停止しているときも、約4~13Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)

外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに約30Wの電力を消費することがあります。

仕 様

■システム

形 名	EHP-4643GPXH EHP-4643GPXHE2[耐重塩害仕様]	EHP-4643GPXHK[寒冷地仕様]
種 類	自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯機	
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機 能	高圧力型フルオートタイプ	
電 源	単相200V 50/60Hz(制御電源含む)	
運 転 範 囲	-10℃～43℃	-20℃～43℃
最 大 電 流	21A	
電 源 容 量	30A	
付 属 品	取扱説明書、取扱ガイド、工事説明書、試運転ガイド、保証書、水抜きポンプ、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形 名	ET-4643GPXH ET-4643GPXHE2[耐重塩害仕様]	ET-4643GPXHK[寒冷地仕様]
設 置 区 分	屋外(防雨)/屋内兼用型	
タ ン ク 容 量	460L	
貯 湯 タ ン ク 材 質	特殊ステンレス鋼板	
消 費 電 力	熱 交 換 循 環 ポ ン プ	11W
	ふ ろ 循 環 ポ ン プ	80/105W
	沸 き 上 げ ポ ン プ	8W
	制 御	5W
	凍 結 予 防 ヒ ー タ	— 80W
給 湯 温 度	給 湯 側	約37℃～50℃/55℃/60℃
	浴 所 側	約35℃～48℃/60℃
沸 き 上 げ 温 度	「多 め」: 約75℃～85℃ 「深夜のみ」: 約65℃、約75℃～85℃ 「おまかせ」: 約65℃～90℃	
最 高 使 用 圧 力	190kPa(1.9kgf/cm ²)	
外 形 寸 法	高さ 2,170mm 幅 630mm 奥行 730mm ※高さ寸法に取手(35mm)は含みません。	
騒 音 値	給 湯 時	34dB(A)
	ふ ろ ・ 追 い だ き 時	36dB(A)
質 量 (満 水 時)	84kg(544kg)	
安 全 装 置	漏電遮断器	
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 5A	ヒューズ 250V 5A 凍結予防ヒータ用ヒューズ 250V 3A

■ヒートポンプユニット

形 名	EHPE-601 EHPE-601E2[耐重塩害仕様]	EHPE-601K[寒冷地仕様]
設 置 区 分	屋外型	
定格加熱能力/消費電力	6.0/1.31kW	
冬期高温加熱能力/消費電力	6.0/1.80kW	
定 格 運 転 電 流	6.7A	
冬 期 高 温 運 転 電 流	9.2A	
定 格 C O P	4.58	
圧 縮 機 電 動 機 出 力	1.11kW	
フ ァ ン 電 動 機 出 力	53W	
騒 音 値	40dB(A)	
外 形 寸 法	高さ 735mm 幅 825mm(+74mm) 奥行 300mm	
質 量	70kg	
冷 媒 名	R744(CO ₂)	
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 30A	ファン電動機用ヒューズ 250V 3.15A

- 運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。
- この仕様数値は50/60Hz共通です。
- 停止しているときも、約4～13Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
- 外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに約30W(寒冷地仕様は約110W)の電力を消費することがあります。

■システム

形 名	EHP-4653GPXHT EHP-4653GPXHTE2[耐重塩害仕様]
種 類	自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯機
適 用 電 力 制 度	時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)
機 能	高圧力型フルオートタイプ
電 源	単相200V 50/60Hz(制御電源含む)
運 転 範 囲	-10℃~43℃
最 大 電 流	21A
電 源 容 量	30A
付 属 品	取扱説明書、取扱ガイド、工事説明書、試運転ガイド、保証書、水抜きポンプ、ドレンソケット

■貯湯ユニット

形 名		ET-4653GPXHT ET-4653GPXHTE2[耐重塩害仕様]	
設 置 区 分		屋外(防雨)型	
タ ン ク 容 量		460L	
貯 湯 タ ン ク 材 質		特殊ステンレス鋼板	
消 費 電 力	熱 交 換 循 環 ポ ン プ	11W	
	ふ ろ 循 環 ポ ン プ	80/105W	
	沸 き 上 げ ポ ン プ	8W	
	制 御	5W	
	凍 結 予 防 ヒ ー タ	－	
給 湯 温 度	給 湯 側	約37℃～50℃/55℃/60℃	
	浴 所 側	約35℃～48℃/60℃	
沸 き 上 げ 温 度		「多 め」: 約75℃～85℃ 「深夜のみ」: 約65℃、約75℃～85℃ 「おまかせ」: 約65℃～90℃	
最 高 使 用 圧 力		190kPa(1.9kgf/cm ²)	
外 形 寸 法		高さ 1,870mm 幅 1,190mm 奥行 495mm ※高さ寸法に取手(35mm)は含みません。	
騒 音 値	給 湯 時	34dB(A)	
	ふろ・追いだき時	36dB(A)	
質 量 (満 水 時)		107kg(567kg)	
安 全 装 置		漏電遮断器	
電 流 ヒ ュ ー ズ		ヒューズ 250V 5A	

■ヒートポンプユニット

形 名	EHPE-601 EHPE-601E2[耐重塩害仕様]
設 置 区 分	屋外型
定格加熱能力/消費電力	6.0/1.31kW
冬期高温加熱能力/消費電力	6.0/1.80kW
定 格 運 転 電 流	6.7A
冬 期 高 温 運 転 電 流	9.2A
定 格 C O P	4.58
圧 縮 機 電 動 機 出 力	1.11kW
フ ァ ン 電 動 機 出 力	53W
騒 音 値	40dB(A)
外 形 寸 法	高さ 735mm 幅 825mm(+74mm) 奥行 300mm
質 量	70kg
冷 媒 名	R744(CO ₂)
電 流 ヒ ュ ー ズ	ヒューズ 250V 30A ファン電動機用ヒューズ 250V 3.15A

●運転性能特性は日本冷凍空調工業会標準規格(JRA 4050)に基づいた数値です。

●この仕様数値は50/60Hz共通です。

●停止しているときも、約4~13Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)

外気温度が約10℃以下のときは、凍結予防または自動的にヒートポンプユニットを暖めるために、さらに約30W(寒冷地仕様は約110W)の電力を消費することがあります。

故障かな？

サービスを依頼されるときは

サービスを依頼される前に 59 ～ 62 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……長府自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

2. 形 名…… EHP-3733GPXH・EHP-3743GPXH・EHP-4643GPXH
EHP-3753GPXHT・EHP-4653GPXHT・EHP-3733GPXHE2
EHP-3743GPXHE2・EHP-4643GPXHE2・EHP-3753GPXHTE2
EHP-4653GPXHTE2・EHP-3733GPXHK・EHP-4643GPXHK

3. お買い上げ年月日

4. 故障の状況……できるだけ詳しく

5. ご住所、お名前、電話番号

6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

●転居される場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

●移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より機器本体は1年間、貯湯タンクは5年間、冷媒回路は3年間無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後9年です

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販 売 店 名			
	電話番号		

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

長年ご使用の機器の点検を！	
愛情点検 	こんな症状は ありませんか？ ●お湯の出が悪い。 ●お湯が早くなる。 ●逃し弁から昼間、常にお湯が出る。 ●ときどき漏電遮断器が働く。 ●その他の異常や故障がある。
	お願い このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため技術者による保守点検を受けていただくことをおすすめします。 詳しくは販売店にご相談ください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



- 本社 ————— 山 口 県 下 関 市 長 府 扇 町 2 - 1
●お問い合わせ先 —————

本 社 ・ 営 業 部	〒752-8555	下 関 市 長 府 扇 町 2 - 1	☎(0832)48-1111 FAX(0832)48-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛 岡 営 業 所	〒020-0122	盛 岡 市 み た け 5 - 1 5 - 5 0	☎(019)641-0811
仙 台 営 業 所	〒980-0012	仙 台 市 青 葉 区 錦 町 1 - 4 - 6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大 宮 営 業 所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東 京 支 店	〒160-0022	新 宿 区 新 宿 5 - 1 4 - 6	☎(03)5369-3511
横 浜 営 業 所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千 葉 営 業 所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金 沢 営 業 所	〒921-8550	金 沢 市 玉 鉾 4 - 1 7	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野 洲 市 野 洲 1 4 7 3 - 1	☎(077)588-4111
大 阪 支 店	〒564-0053	吹 田 市 江 の 木 町 1 8 - 2 7	☎(06)6338-7111
香 川 営 業 所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡 山 営 業 所	〒700-0976	岡 山 市 辰 巳 3 - 1 1 1	☎(086)245-1111
広 島 営 業 所	〒732-0811	広 島 市 南 区 段 原 1 - 1 - 1	☎(082)261-5111
福 岡 営 業 所	〒812-0063	福 岡 市 東 区 原 田 4 - 2 - 7	☎(092)629-5111
沖 縄 営 業 所	〒901-2101	浦 添 市 西 原 3 - 1 8 - 1 0	☎(098)877-3111



この印刷物は再生紙と天然成分で作られた有害物質の少ない大豆インキを使用しております。